

2019年 秋季年会

年会プログラム

於 熊本大学

2019年9月11日(水) ~ 9月13日(金)

日本天文学会

日本天文学会 2019年 秋季年会プログラム

期 日 2019年9月11日(水)～9月13日(金)

場 所 熊本大学黒髪キャンパス(熊本県熊本市中央区)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2019年9月10日(火)～9月13日(金)>

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
9月10日 (火)							記者会見						
9月11日 (水)	A	受付		M. 太陽	昼休み	ポスター		M. 太陽	理事会				
	B			Q. 星間現象				Q. 星間現象					
	C			S. 銀河核				S. 銀河核					
	D			P2. 星・惑星				P2/P1. 星・惑星					
	E			T. 銀河団				P3. 星・惑星					
	F			N. 恒星進化				N. 恒星進化					
	G			V3. 観測機器				V3. 観測機器					
	H			V2. 観測機器				V2. 観測機器					
	I			W. コンパクト天体				W. コンパクト天体					
	J			X. 銀河形成				X. 銀河形成					
9月12日 (木)	A	受付		M. 太陽	昼休み (代議員総会)		Z3. 誘発星形成	ポスター	会員全体 集会			懇親会	
	B			Q. 星間現象			Q. 星間現象						
	C			S. 銀河核			V1. 観測機器						
	D			P1. 星・惑星			P1. 星・惑星						
	E			P3. 星・惑星			P3. 星・惑星						
	F			N. 恒星進化			N. 恒星進化						
	G			V3. 観測機器			V3. 観測機器						
	H			V2. 観測機器			V2. 観測機器						
	I			W. コンパクト天体			W. コンパクト天体						
	J			X. 銀河形成			X. 銀河形成						
9月13日 (金)	A	受付		Z3. 誘発星形成	昼休み	ポスター	Z3. 誘発星形成	特別セッション (天文教育フォーラム)					
	B			Q. 星間現象/Y. 教育・他			Y. 教育・他						
	C			V1. 観測機器			V1. 観測機器						
	D			P1. 星・惑星			P1. 星・惑星						
	E			Z2. すばる+TMT			Z2. すばる+TMT						
	F			R. 銀河			R. 銀河						
	G			U. 宇宙論			U. 宇宙論						
	H			Z1. 太陽新展開			Z1. 太陽新展開						
	I			W. コンパクト天体			W. コンパクト天体						
	J			X. 銀河形成			X. 銀河形成						
9月14日 (土)							公開講演会						
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

A会場 : 理学部1・2号館 1F (C122)

B会場 : 理学部1・2号館 2F (C226)

C会場 : 理学部1・2号館 2F (C227)

D会場 : 工学部2号館 3F (234)

E会場 : 工学部2号館 3F (235)

F会場 : 工学部2号館 2F (224)

G会場 : 工学部2号館 2F (221)

H会場 : 工学部2号館 2F (222)

I会場 : 工学部2号館 2F (225)

J会場 : 工学部2号館 2F (223)

受付 : 工学部2号館 1F ホール

ポスター会場 : 工学部2号館 1F/3F

展示コーナー : 工学部2号館 1F ホール

懇親会 : ホテルメルパルク熊本 3F

◎講演数

講演数：合計 699

(口頭講演 (a)：503、ポスター講演 (b)：147、ポスター講演 (c)：49)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込)
	(但し講演ありの場合、参加費は無料)	
講演登録費	3,000 円 (不課税) (1 講演につき)	10,000 円 (1 講演につき)
	(但し事前支払がない場合は、会員 4,000 円 / 非会員 11,000 円)	
年会予稿集	2,000 円 (消費税込)	2,000 円 (消費税込) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付

○参加登録受付時間：9月11日 10:00～16:00

9月12日 09:00～16:00

9月13日 09:00～13:30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 10 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、年会プログラムで指定された時間帯にポスター会場の指定された場所に掲示できます。ポスターセッションを活性化するために、ポスターセッションの時間にはポスター講演者は会場に居てください。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦 180 cm×横 90 cm です。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
9月10日 (火)	13:00～15:00	熊本県庁知事公室 広報グループ県政記者室	記者会見
9月12日 (木)	16:15～17:15	J会場	会員全体集会
	19:30～21:30	ホテルメルパルク熊本	懇親会
9月13日 (金)	15:45～17:15	J会場	天文教育フォーラム
9月14日 (土)	13:30～16:00	熊本大学黒髪南キャンパス 百周年記念館	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	参加可否 [※]
9月11日 (水)	13:00～14:00	A会場	太陽研究者連絡会・運営委員会	D
	13:00～14:00	D会場	宇宙電波懇談会総会	C
	13:00～14:00	I会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	13:00～14:00	J会場	天文学者のサバイバル術(主催:キャリア支援委員会)	A
	17:30～18:30	会議室	理事会	D
9月12日 (木)	11:30～12:30	G会場	高エネルギー宇宙物理連絡会報告会	B
	11:30～12:30	H会場	光・赤外大学間連携協議会/観測運営委員会合同会議	C
	11:30～12:30	I会場	代議員総会	D
9月13日 (金)	11:30～12:30	E会場	光学赤外線天文連絡会	C
	11:30～12:30	H会場	太陽研究者連絡会・報告会	B
	11:30～12:30	I会場	SKA-Japan 定期会合	B
	11:30～12:30	J会場	天文・天体物理若手の会総会	C

※年会参加者の参加可否の説明(オープン化の程度)

- A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

◎天文教育フォーラム：「市民向け講演会～何を話す？どうやって伝える？」

日 時：2019年9月13日（金）15：45～17：15

場 所：J会場

概 要：研究者にとって、最新の研究成果を広く市民に還元していくことは重要な使命の一つである。市民向けの講演会などはそのための絶好の機会と言えよう。しかし、宇宙を研究する面白さや最新の研究成果をわかりやすく市民と共有するのは簡単ではない。天文学の知見を研究者集団の中だけの閉じたもので終わらせることなく、広く市民に開かれたものにしていくためには、市民のニーズやベースとなる知識にも配慮して伝えていくことが必要となるだろう。今回のフォーラムでは、研究者から市民へ、天文学の最新の知見を楽しみながら伝えていく方法を考えていきたい。そのため、話し手の伝えたいこと、聞き手の双方の求めるものを整理した上で、効果的に知見を紹介していくための手段を議論したい。

話題提供（敬称略）：

「研究者としての立場から」	元木業人（山口大学）
「市民に伝える立場から」	宮本孝志（南阿蘇ルナ天文台）
「日本天文学会講師紹介プログラムについて」	内山秀樹（静岡大学）

費 用：天文教育フォーラムのみの参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員：鴈野重之、石井貴子、石田光宏、磯部洋明、松本佳也、中串孝志、亀谷和久

主 催：公益社団法人 日本天文学会 / 一般社団法人 日本天文教育普及研究会

◎日本天文学会公開講演会

日 時：2019年9月14日（土）13：30～16：00（開場 13:00）

場 所：熊本大学黒髪南キャンパス 百周年記念館

対 象：中学生以上・一般向け

テ ー マ：「天文学の新たな地平線」

ここ数年、天文学の観測装置の発達により、重力波の検出、超巨大ブラックホールの撮像、地球によく似た惑星の発見など、たくさんの革新的な研究が行われてきました。そしてこれらの発見により、2020年代の天文学の新たな地平線が見えてきています。本講演会では急速に発展している天文学の最前線と、新たに浮かび上がった謎、そして次世代の観測装置や研究課題などについて一線の研究者が紹介します。

講師・タイトル：下記をご参照ください。

参加費：無料（事前申し込み不要）

定 員：300名（先着順）

<講演内容の紹介>

講演1：「ブラックホール天文学の最前線」

講師：大須賀 健（筑波大学教授）

イベント・ホライズン・テレスコープが写し出した光のリング、それは人類が初めて捉えたブラックホールの姿です。ブラックホールはその強力な重力で、物質はもちろんのこと光さえも吸い込む天体です。しかし、吸い込むだけではありません。ブラックホールの周囲では強力な光が発生し、超高速ジェットが噴出することがわかってきました。

本講演では、ブラックホールの最新の研究成果と残された謎の数々を解説します。

講演2：「究極の電波望遠鏡 Square Kilometre Array」

講師：高橋 慶太郎（熊本大学准教授）

宇宙の謎を解き明かす望遠鏡はより規模を大きく、そして精密に建設することで、微弱な電磁波を捕らえ遠方の天体を観測して天文学を発展させてきました。その究極の1つが国際電波望遠鏡計画 Square Kilometre Array (SKA) です。SKAは世界13カ国の国際協力のもとで建設が始まろうとしており、宇宙の始まりや宇宙で最初の星、地球外生命などを明らかにしていくことを目指します。本講演ではこの計画を紹介し、宇宙の様々な謎、そしてそれにどうやって迫っていくのかをお話します。

プログラム、アクセスにつきましては開催地HP (<https://kumadaiuchu.wixsite.com/asj2019september>) をご覧ください。

主 催：公益社団法人 日本天文学会

共 催：熊本大学

企 画：熊本大学理学部宇宙理論研究室

交通案内



JR熊本駅から	産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車 都市バス：第一環状線【駅2】（大学病院・大江渡鹿経由）「子飼橋」下車徒歩10分 市電+産交バス：市電の健軍行きに乗車し「水道町」で下車。産交バスへ乗換。水道町バス停より、楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車
JR上熊本駅から	都市バス：第一環状線【駅1】、昭和町線（子飼橋経由）「子飼橋」下車徒歩10分
熊本空港から	空港リムジンバス熊本駅行き「通町筋」下車、 「水道町」から産交バスで楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車
交通センターから （桜町バスセンター）	（16番のりば） 産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車 電鉄バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車
JR竜田口駅	産交バス：交通センター行き「熊本大学前」下車

会場案内

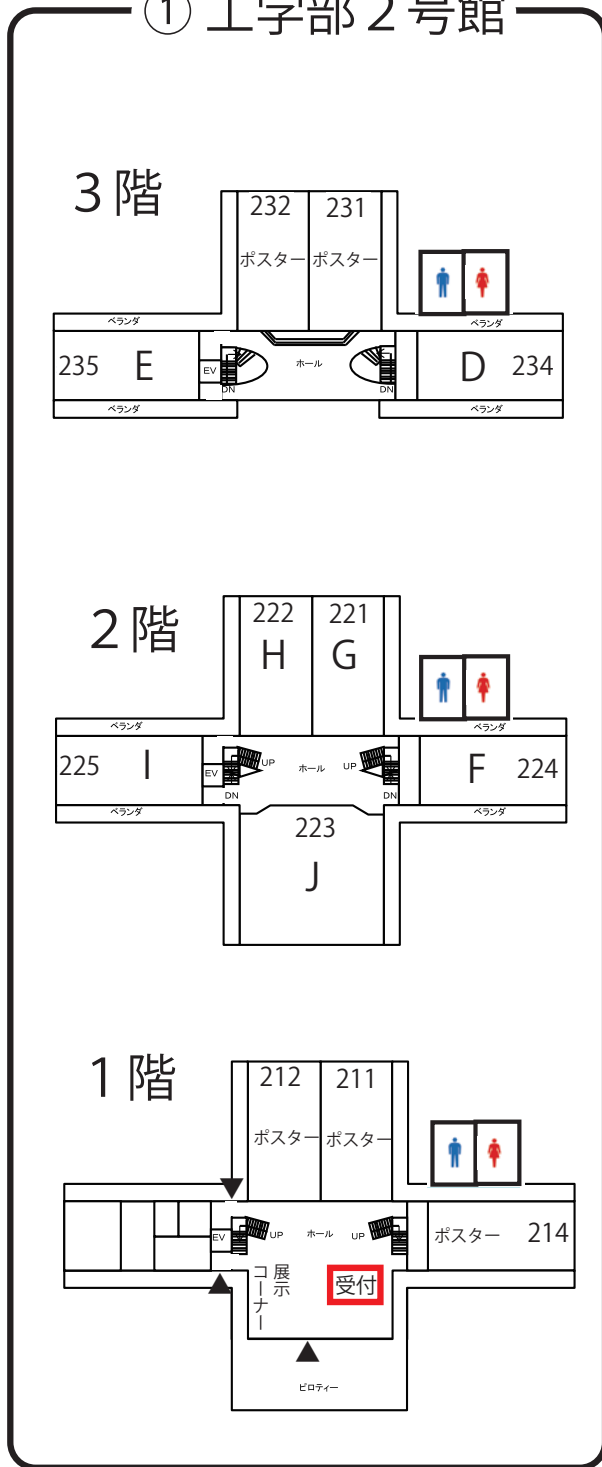
熊本大学黒髪キャンパス



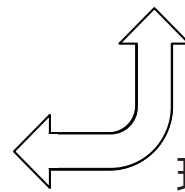
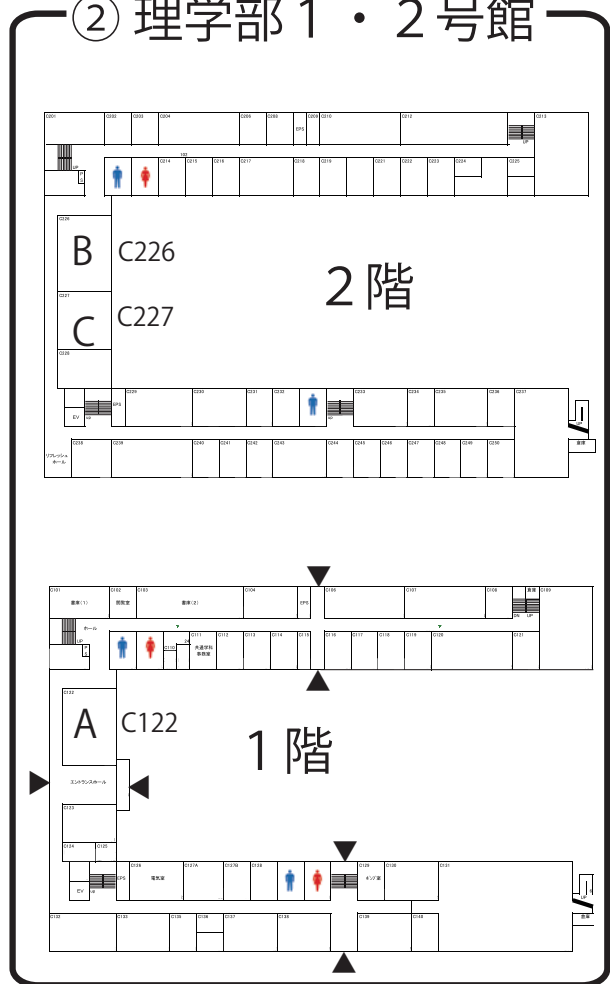
- ◆工学部と理学部の移動所要時間：徒歩 3 分
- ◆大学敷地内は禁煙です。
- ◆駐車：構内は荷下ろしのみ
- ◆ATM：北キャンパス正門東横（肥後銀行、熊本銀行）
- ◆無線 LAN：eduroam 構内全域

講演会場案内

① 工学部 2号館



② 理学部 1・2号館



理学部と工学部の
移動所要時間：
徒歩 3分

▲・・・出入口

口頭セッション 9月11日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	太 陽	星間現象	活動銀河核	星・惑星	銀河団	恒星進化	観測機器	観測機器	コンパクト天体	銀河形成
11:00	M01a	Q01a	S01a	P201a	T01a	N01a	V301a	V201a	W01a	X01a
11:12	M02a	Q02a	S02a	P202a	T02a	N02a	V302a	V202a	W02a	X02a
11:24	M03a	Q03a	S03a	P203a	T03a	N03a	V303a	V203a	W03a	X03a
11:36	M04a	Q04a	S04a	P204a	T04a	N04a	V304a	V204a	W04a	X04a
11:48	M05a	Q05a	S05a	P205a	T05a	N05a	V305a	V205b V208b V209b	W05a	X05a
12:00	M06a	Q06a	S06a	P206a	T06a	N06a	V306a	V210a	W06a	X06a
12:12	M07a	Q07b Q08b Q09b	S07a	P207a	T07a	N07a	V307a	V211a	W07a	X07a
12:24	M08a	Q10a	S08a	P208a	T08a	N08a	V308a	V212a	W08b W09b W10b	X08a
12:36	M09a	Q11a	S09a	P209a	T09a	N09a	V309a	V213a	W11b W12b	X09b X10b X11b
12:48	M10a	Q12b Q14b	S10a	P210b P211b P212b	T10b	N10a	V310a	V214a	-	X12b X13b X14b
13:00	昼 休 み									
14:00	ポスター									
開始時刻	太 陽	星間現象	活動銀河核	星・惑星/ 星・惑星	星・惑星	恒星進化	観測機器	観測機器	コンパクト天体	銀河形成
15:00	M11a	Q15a	S11a	P213a	P301a	N11a	V312a	V215a	W14a	X15a
15:12	M12a	Q16a	S12a	P214a	P302a	N12a	V313a	V216a	W15a	X16a
15:24	M13a	Q17a	S13a	P215a	P303a	N13a	V314a	V217a	W16a	X17a
15:36	M14a	Q18a	S14a	P216a	P304a	N14b N15b N16b	V315a	V218a	W17a	X18a
15:48	M15b M16b M17b	Q19a	S15a	P217b P218b P219b	P305a	N17a	V316a	V220a	W18a	X19a
16:00	M20b M21b M22b	Q20a	S16a	P101a	P306a	N18a	V317a	V221b V222b V223b	W19a	X20a
16:12	M24a	Q21a	S17a	P102a	P308b P309b P310b	N19a	V318a	V224a	W20a	X21a
16:24	M25a	Q22a	S18a	P103a	P311a	N20a	V319a	V225a	W21a	X22a
16:36	M26a	Q23a	S19b S20b S21b	P104a	P312a	N21a	V320a	V226a	W22b W23b W24b	X23a
16:48	M27b M28b	Q24a	S22b	P105b P106b	P313a	N22b N24b N25b	-	V227b V228b	-	X24b X25b

口頭セッション 9月12日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	太 陽	星間現象	活動銀河核	星・惑星	星・惑星	恒星進化	観測機器	観測機器	コンパクト天体	銀河形成
09:30	M30a	Q25a	S26a	P107a	P314a	N26a	V321a	V229a	W27a	X26a
09:42	M31a	Q26a	S27a	P108a	P315a	N27a	V322a	V230a	W28a	X27a
09:54	M32a	Q27a	S28a	P109a	P316a	N28a	V323a	V231a	W29a	X28b X29b X30b
10:06	M33a	Q28a	S29a	P111a	P317a	N29a	V324a	V232a	W30a	X31b X32b X33b
10:18	M34b M35b M36b	Q29a	S30a	P112b P114b P115b	P318a	N30b N31b N32b	V325a	V233a	W31a	X34a
10:30	M37b M38b	Q30a	S31a	P116a	P319b P320b P321b	N33a	V326a	V234a	W32a	X36a
10:42	-	Q31a	S32a	P117a	P322a	N34a	V327a	V235b V236b V237b	W33a	X37a
10:54	-	Q32a	S33a	P118a	P323a	N35a	V328a	V238a	W34a	X38a
11:06	-	Q33a	S34a	P119b P120b P121b	P324a	N36a	V329b V330b V331b	V242a	W35a	X39a
11:18	-	Q34a	S35a	P122b P123b P124b	P325a	N37a	V332b	V243a	W36b W37b W38b	X40a
11:30	昼休み(代議員総会)(I会場)									
開始時刻	誘発星形成	星間現象	観測機器	星・惑星	星・惑星	恒星進化	観測機器	観測機器	コンパクト天体	銀河形成
13:00	Z301r ∧ Z306a	Q35a	V101a	P125a	P326a	N38a	V333a	V244a	W41a	X41a
13:12		Q36a	V102b V103b V104b	P126a	P327a	N39a	V334a	V245b V246b V247b	W42a	X42a
13:24		Q37a	V105a	P127a	P328a	N40a	V335a	V248a	W43a	X43a
13:36		Q38a	V106a	P128a	P329a	N41a	V336a	V249a	W44a	X44a
13:48		Q39a	V107a	P129a	P330b P331b	N42a	V337a	V250a	W45a	X45a
14:00		Q40a	V108a	P130a	-	N43a	V338a	V251a	W46a	X46a
14:12		Q41a	V109b V110b V113b	P131b P132b P133b	-	N44a	V339a	V252a	W47b W48b W49b	X47a
14:24		Q42a	V115b V116b V117b	P134b P135b P136b	-	N45a	V340b V341b V342b	V253a	W50b W51b	X48a
14:36		Q43a	-	P137a	-	N46a	V343b V344b V345b	V254a	-	X49a
14:48		Q44a	-	P138a	-	N47a	V346a	V255a	-	X50a
15:00	-	-	-	-	N48a	-	-	-	-	
15:00	ポスター									
16:15	会員全体集会(J会場)									
19:30	懇親会(ホテルメルパルク熊本 3F)									

口頭セッション 9月13日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	誘発星形成	星間現象/ 教育・他	観測機器	星・惑星	すばる +TMT	銀河	宇宙論	太陽新展開	コンパクト 天体	銀河形成
09:30	Z307r ∩ Z314a	Q45a	V119a	P139a	Z201a ∩ Z209r	R01a	U01a	Z101r ∩ Z108a	W53a	X51a
09:42		Q46a	V120a	P140a		R02a	U02a		W54a	X52a
09:54		Q47a	V121a	P141a		R03a	U03a		W55a	X53a
10:06		Q48a	V122a	P142a		R04a	U04a		W56a	X54a
10:18		Q49a	V123a	P143a		R05a	U05a		W57a	X55a
10:30		Y01a	V124b V125b V126b	P144a		R06a	U06a		W58a	X56a
10:42		Y02a	V130a	P145a		R07a	U07a		W59a	X57a
10:54		Y03b Y04b Y05b	V132a	P146a		R08a	U08a		W60a	X58a
11:06		Y08a	V133a	P147a		R09b R10b R11b	U09a		W61a	X59a
11:18		Y09b Y10b Y11b	V134a	P148a		R12b R13b R14b	U10a		W62a	X60a
11:30	-	V135b	-	-	U11b U12b	-	-			
11:30	昼休み									
12:30	ポスター									
開始時刻	誘発星形成	教育・他	観測機器	星・惑星	すばる +TMT	銀河	宇宙論	太陽新展開	コンパクト 天体	銀河形成
13:30	Z315r ∩ Z320a 全体討論	Y12a	V136a	P149a	Z210r ∩ Z218a	R17a	U15a	Z109a ∩ Z119b	W63a	X61a
13:42		Y13a	V137a	P150a		R18a	U16a		W64a	X62a
13:54		Y14a	V138a	P151a		R19a	U17a		W65a	X63a
14:06		Y15a	V139a	P152a		R20a	U18a		W66a	-
14:18		Y16a	V140a	P153a		R21a	U19a		W67a	-
14:30		Y17a	V141a	P154a		R22a	U20a		W68a	-
14:42		Y18a	V142a	P155a		R23a	U21a		W69a	-
14:54		-	V143a	P156a		R24a	U22a		W70a	-
15:06		-	V144a	-		R25a	U23a		W71a	-
15:18		-	-	-		-	U24a		W72a	-
15:45	天文教育フォーラム (J会場)									

ポスターセッション 9月11日(水) ~ 9月13日(金)

<p>【Z1. 太陽新展開】(2)</p> <p>Z118b Z119b</p> <p>【Z3. 誘発星形成】(1)</p> <p>Z318b</p> <p>【M. 太陽】(18)</p> <p>M15b M16b M17b M18c M19c</p> <p>M20b M21b M22b M23c M27b</p> <p>M28b M29c M34b M35b M36b</p> <p>M37b M38b M39c</p> <p>【N. 恒星】(12)</p> <p>N14b N15b N16b N22b N23c</p> <p>N24b N25b N30b N31b N32b</p> <p>N49c N50c</p> <p>【P1. 星・惑星】(19)</p> <p>P105b P106b P110c P112b P113c</p> <p>P114b P115b P119b P120b P121b</p> <p>P122b P123b P124b P131b P132b</p> <p>P133b P134b P135b P136b</p> <p>【P2. 星・惑星】(6)</p> <p>P210b P211b P212b P217b P218b</p> <p>P219b</p>	<p>【P3. 星・惑星】(11)</p> <p>P307c P308b P309b P310b P319b</p> <p>P320b P321b P330b P331b P332c</p> <p>P333c</p> <p>【Q. 星間現象】(8)</p> <p>Q07b Q08b Q09b Q12b Q13c</p> <p>Q14b Q50c Q51c</p> <p>【R. 銀河】(8)</p> <p>R09b R10b R11b R12b R13b</p> <p>R14b R15c R16c</p> <p>【S. 活動銀河核】(7)</p> <p>S19b S20b S21b S22b S23c</p> <p>S24c S25c</p> <p>【T. 銀河団】(1)</p> <p>T10b</p> <p>【U. 宇宙論】(4)</p> <p>U11b U12b U13c U14c</p> <p>【V1. 観測機器】(21)</p> <p>V102b V103b V104b V109b V110b</p> <p>V111c V112c V113b V114c V115b</p> <p>V116b V117b V118c V124b V125b</p> <p>V126b V127c V128c V129c V131c</p> <p>V135b</p>
---	--

ポスターセッション 9月11日(水) ~ 9月13日(金)

【V2. 観測機器】(21)

V205b V206c V207c V208b V209b
 V219c V221b V222b V223b V227b
 V228b V235b V236b V237b V239c
 V240c V241c V245b V246b V247b
 V256c

【V3. 観測機器】(11)

V311c V329b V330b V331b V332b
 V340b V341b V342b V343b V344b
 V345b

【W. コンパクト天体】(22)

W08b W09b W10b W11b W12b
 W13c W22b W23b W24b W25c
 W26c W36b W37b W38b W39c
 W40c W47b W48b W49b W50b
 W51b W52c

【X. 銀河形成】(15)

X09b X10b X11b X12b X13b
 X14b X24b X25b X28b X29b
 X30b X31b X32b X33b X35c

【Y. 教育・他】(9)

Y03b Y04b Y05b Y06c Y07c
 Y09b Y10b Y11b Y19c

Z1. Solar-C_EUVSTを軸とした将来スペースミッションと太陽研究の将来展望

9月13日(金) 午前・H会場		9月13日(金) 午後・H会場	
09:30	Z101r 天体物理研究から見た太陽物理分野への期待 鈴木建(東京大学)	13:30	Z109a DKISTとEUVSTによる太陽縁外の観測で探るエネルギー伝播と散逸 鄭祥子(京都大学)
09:54	Z102r 超高精度分光で探る将来X線宇宙物理と太陽物理研究とのシナジー 寺田幸功(埼玉大学)	13:42	Z110a Solar-C_EUVSTを視野に入れたLyman β とその近傍のOI 1027, 1028Å線のスペクトル合成と形成過程に関する研究 長谷川隆祥(東京大学/宇宙航空研究開発機構)
10:18	Z103a 公募型小型衛星Solar-C_EUVST(高感度EUV/UV分光望遠鏡):計画概要 清水敏文(宇宙航空研究開発機構)	13:54	Z111a 太陽大気の3次元輻射磁気流体シミュレーション 飯島陽久(名古屋大学)
10:30	Z104a まもなく観測を開始するDKISTとSolar-C_EUVSTとの連携 浅井歩(京都大学)	14:06	Z112a EUVSTで迫る太陽・恒星コロナ加熱問題 庄田宗人(国立天文台)
10:42	Z105a 太陽大気における3次元動的現象の理解へ:SUNRISE-3気球観測とその先へ 勝川行雄(国立天文台)	14:18	Z113a 太陽圏研究から見たSolar-C EUVSTへの期待と連携の可能性 岩井一正(名古屋大学)
10:54	Z106a 紫外線偏光分光観測実験CLASPシリーズから得る将来計画への示唆 石川遼子(国立天文台)	14:30	Z114a 機械学習と数値計算を用いた微小フレアの検出およびエネルギー推定 河合敏輝(名古屋大学)
11:06	Z107a 磁気リコネクションに伴う粒子加速の理解を目指す衛星計画PhoENiXの進捗報告(2019年秋) 成影典之(国立天文台)	14:42	Z115a 活動領域の3次元磁場構造~EUVST時代の展望~ 川畑佑典(東京大学)
11:18	Z108a 加熱・輸送・乱流ダイナミクスが繋ぐ太陽-実験室プラズマの連携研究:SoLaBo-X 仲田資季(核融合科学研究所)	14:54	Z116a 太陽プロミネンス研究の今後とEUVSTへの期待 金子岳史(名古屋大学)
		15:06	Z117a EUVSTによるフレア加速粒子診断 川手朋子(宇宙航空研究開発機構)
		15:18	Z118b ガイド磁場印加リコネクションの自己相似的時間発展:リコネクションレートについて 新田伸也(筑波技術大学)
		15:18	Z119b Solar-C_EUVST「Outcome」への戦略 今田晋亮(名古屋大学)

Z2. すばると TMT の連携で拓く科学のフロンティア

9月13日（金）午前・E会場		9月13日（金）午後・E会場	
09:30	Z201a すばる望遠鏡 - 2020-2030 年代の戦略 吉田道利（国立天文台）	13:30	Z210r 系外惑星科学の現状整理と展望 生駒大洋（東京大学）
09:39	Z202a TMT 計画 - 概要 臼田知史（国立天文台）	13:48	Z211a TMT 時代の系外惑星観測と観測装置 田村元秀（The University of Tokyo / Astrobiology Center）
09:48	Z203r すばるとTMTによるマルチメッセンジャー 天文学 田中雅臣（東北大学）	14:00	Z212a TMT/IRIS による太陽系外縁天体の近 赤外線分光観測 寺居剛（国立天文台）
10:06	Z204a すばる広視野探査と TMT 分光による IceCube 高エネルギーニュートリノの超 新星爆発起源説の検証 諸隈智貴（東京大学）	14:12	Z213a すばる+TMT で切り拓く星・惑星形成 本田充彦（岡山理科大学）
10:18	Z205a 重力波観測ラン O3 における J-GEM の すばるでの観測状況と TMT との連携 大神隆幸（甲南大学）	14:24	Z214a 星団が決める漸近巨星枝星の進化 板由房（東北大学）
10:30	Z206r すばると TMT の連携で拓く宇宙論 高田昌広（Kavli IPMU）	14:36	Z215r すばると TMT の連携で拓く 2020 年代 の銀河天文学 柏川伸成（東京大学）
10:48	Z207a 銀河系中心巨大ブラックホールの強重 力における一般相対論の検証 齊田浩見（大同大学）	14:54	Z216a ULTIMATE-Subaru:TMT 時代に向けた すばる望遠鏡の赤外線広視野戦略 小山佑世（国立天文台）
11:00	Z208a Subaru/TMT 近赤外線高分散分光観測 による等価原理 (LPI) の検証 西山正吾（宮城教育大学）	15:06	Z217a 星形成領域のマッピングで明らかにす る遠方星形成銀河の構造進化 鈴木智子（東北大学 / 国立天文台）
11:12	Z209r すばると TMT の連携で拓く銀河考古学 岡本桜子（国立天文台）	15:18	Z218a すばる・TMT 連携による遠方クエーサー 研究 松岡良樹（愛媛大学）

Z3. トリガーによる天体形成

9月12日(木) 午後・A会場	9月13日(金) 午前・A会場
13:00 Z301r トリガーによる星形成 福井康雄(名古屋大学)	09:30 Z307r ALMA View of Molecular Cloud Cores in the Galactic Center 50 km/s Cloud: Molecular Cloud Cores made by Cloud- cloud Collision Masato Tsuboi (ISAS/JAXA)
13:36 Z302a CARMA-NRO Orion データと IN-SYNC データによるオリオン A 分子雲での分 子雲衝突説の検証 中村文隆(国立天文台)	10:06 Z308a Massive Star Formation triggered by Cloud-Cloud Collision: Effects of Magnetic Field and Collision Speed Nirmit Deepak Sakre (Hokkaido University)
13:48 Z303a NGC 2023 における大質量星形成 山田麟(名古屋大学)	10:18 Z309a IRSF 近赤外線減光マップで得られた大 マゼラン雲 HI リッジ領域における小マ ゼラン雲からのガス流入の証拠 古田拓也(名古屋大学)
14:00 Z304r 初期宇宙における天体形成: 周辺環境 とトリガーについて 鄭昇明(東北大学)	10:30 Z310a 中性水素ガス衝突による星団形成の理 論的研究 前田龍之介(名古屋大学)
14:36 Z305a 大質量星近傍分子雲コアの紫外線光蒸 発: 輻射駆動爆縮とコア寿命の金属量 依存性 仲谷峻平(理化学研究所)	10:42 Z311a 高分解能 HI で探る, 小マゼラン雲の NGC602 領域における巨大星団形成シ ナリオ 大野峻宏(名古屋大学)
14:48 Z306a Secondary proto-star formation triggered by spiral-arm instability 井上茂樹(筑波大学 / 国立天文台)	10:54 Z312a 分子雲衝突による一様金属量を持つ星 団の形成シミュレーション 斎藤貴之(神戸大学)
	11:06 Z313a ASURA+BRIDGE を用いた星団形成シミュ レーション 藤井通子(東京大学)
	11:18 Z314a アンテナ銀河における巨大星団形成シナ リオ 柘植紀節(名古屋大学)

M. 太陽

9月13日(金) 午後・A会場		9月11日(水) 午前・A会場	
13:30	Z315r 銀河系円盤部における分子雲形成・散逸過程と星形成率について 犬塚修一郎(名古屋大学)	11:00	M01a 第24太陽周期観測データから推定する巨大太陽フレアの可能性について 草野完也(名古屋大学)
14:06	Z316a 羽部太田モデルに基づく分子雲衝突の観測的特徴と性質 鳥居和史(国立天文台)	11:12	M02a RHESSI衛星と野辺山電波ヘリオグラフで観測された太陽フレアの特徴 増田智(名古屋大学)
14:18	Z317a 分子雲衝突による大質量星形成とフィードバックによるトリガーの可能性 島和宏(京都大学)	11:24	M03a フレア活動領域: 先行研究の総括と今後の課題 鳥海森(宇宙航空研究開発機構)
14:30	Z318b M17赤外線暗黒星雲領域の分子雲の力学状態と分子雲衝突の可能性について 木下真一(東京大学)	11:36	M04a 太陽フレアEUV放射スペクトル予測モデルの構築 西本将平(防衛大学校)
14:36	Z319a ALMAによる渦巻銀河M33の巨大分子雲の高分解能観測(2): NGC 604における星形成とフィードバック 村岡和幸(大阪府立大学)	11:48	M05a 非線形フォースフリー磁場モデリングに基づいた活動領域12673におけるエネルギー蓄積過程とフレアの発生機構に関する研究 山崎大輝(京都大学)
14:48	Z320a ALMAによる渦巻銀河M33の巨大分子雲の高分解能観測(3): フィラメント状分子雲と原始星アウトフローの検出 徳田一起(大阪府立大学/国立天文台)	12:00	M06a 太陽フレア上空に現れるシート状構造の断面境界領域について 原弘久(国立天文台)
15:00	全体討論(-15:30)	12:12	M07a 飛騨天文台SMART/SDDIを用いた太陽フィラメント噴出の3次元軌跡とCMEとの関連における研究 大辻賢一(京都大学)
		12:24	M08a 磁場中のプラズマにおけるイオン音波ソリトンによる粒子加速 松野研(大阪物療大学)
		12:36	M09a ケルビンカによる太陽風加速 柴崎清登(太陽物理学研究所)
		12:48	M10a フラックスロープの振動現象を用いた安定性の診断 磯部洋明(京都市立芸術大学)

9月11日(水) 午後・A会場		16:12	M24a	LTE インバージョンから探る光球大気構造変化のスペクトル線幅への影響 石川遼太郎(総合研究大学院大学/国立天文台)
15:00	M11a			太陽フレア中のプラズモイドの合体による加熱過程 石塚典義(東京大学/国立天文台)
15:12	M12a	16:24	M25a	ダルトン極小期(1800年代)における黒点スケッチの画像解析 采女昇真(名古屋大学)
		16:36	M26a	太陽活動や磁場変動の結合スピン格子モデルによる解析 森川雅博(お茶の水女子大学)
15:24	M13a	16:48	M27b	太陽コロナ緑色輝線で観測されたフレア 清水結花(明星大学)
		16:48	M28b	太陽コロナ緑色輝線で見られる構造の長周期変動について 萩野正興(国立天文台)
15:36	M14a		M29c	1930年代の微小黒点由来磁気嵐サーベイ 玉澤春史(京都市立芸術大学/京都大学)
		9月12日(木) 午前・A会場		
15:48	M15b	09:30	M30a	Numerical study of fast and slow MHD waves in heating magnetic chromosphere by realistic simulation Wang Yikang (The University of Tokyo)
15:48	M16b	09:42	M31a	ALMAによるスピキュール物理量の導出 下条圭美(国立天文台)
		09:54	M32a	CLASPで得たライマン α 線スピキュールの偏光とそれが与える磁場への制約 吉田正樹(総合研究大学院大学/国立天文台)
15:48	M17b	10:06	M33a	観測ロケット実験 CLASP2で捉えた太陽彩層の新たな姿 鹿野良平(国立天文台)
		10:18	M34b	H α 線2波長同時撮像観測による活動領域の高解像度速度場観測 宮良碧(茨城大学)
	M18c	10:18	M35b	飛騨天文台 SMART 望遠鏡マグネトグラフ偏光キャリブレーション実験II 山崎大輝(京都大学)
	M19c			超小型衛星による、宇宙空間からの太陽中性子の観測(III) 山岡和貴(名古屋大学)
16:00	M20b			深層学習を用いた MAXI 画像データからの恒星フレア検出 佐藤樹(中央大学)
16:00	M21b			フィラメント噴出に伴う彩層微細構造の運動 青山実樹(茨城大学)
16:00	M22b			活動領域スピキュールの物理量の推定 野澤恵(茨城大学)
	M23c			スーパーフレア時における人工衛星被害推定 関大吉(京都大学/ケンブリッジ大学)

N. 恒星・恒星進化

10:18	M36b	太陽サイクル 24 のプロミネンスの極輸送について 石塚千彬 (明星大学)	9 月 11 日 (水) 午前・F 会場
10:30	M37b	黒点の出現態様に見える太陽の長期活動変動と、基礎データ整備 花岡庸一郎 (国立天文台)	11:00 N01a 赤色巨星の太陽型振動にみられる周波数スペクトルの微細構造の解釈 高田将郎 (東京大学)
10:30	M38b	情報通信研究機構太陽観測データベース 久保勇樹 (情報通信研究機構)	11:12 N02a 主系列 F 型星 KIC 9244992 の対流コアに焦点を絞った自転角速度推定 八田良樹 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
	M39c	太陽風シミュレーションモデルの高解像度化によるコロナホール再現と高速風予測について 田光江 (情報通信研究機構)	11:24 N03a カシオペア座 γ 型変光星における水素輝線等価幅のモニタリング 石田光宏 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
			11:36 N04a 惑星形成が恒星表面組成に及ぼす影響について 國友正信 (久留米大学)
			11:48 N05a 2 次元回転星の定常解を求める数値計算手法 小形美沙 (早稲田大学)
			12:00 N06a 新しい計算手法によるラグランジュ座標上での回転星計算 藤澤幸太郎 (東京大学)
			12:12 N07a ゼロ・低金属量星におけるコロナループ加熱 鷺ノ上遥香 (東京大学)
			12:24 N08a α Ori からの星風についての理論的検証 保田悠紀 (北海道大学)
			12:36 N09a Optically-thick magnetorotational wind from WS 35 : theoretical modeling and photometric observation at 2 Hz using Tomo-e Gozen 樫山和己 (東京大学)
			12:48 N10a 共生星 CH Cyg の最近の話題 飯島孝 (パドバ天文台アジアゴ観測所)

9月11日(水) 午後・F会場		16:48	N24b	VERAによる Exreme-OH/IR 星 OH127.8+0.0 の 43GHz 年周視差計測 中川亜紀治(鹿児島大学)
15:00	N11a			光赤外線大学間連携と TESS によるフ レア星 YZ CMi の測光分光同時観測 前原裕之(国立天文台)
15:12	N12a			せいめい望遠鏡の初期観測成果:M 型 星 AD Leo の恒星フレアの連続分光 行方宏介(京都大学)
15:24	N13a			接触型連星における質量移動率の連星 パラメータに対する依存性 高妻真次郎(中京大学)
15:36	N14b			接触型および半分離型連星系における 恒星黒点の統計的性質 高妻真次郎(中京大学)
15:36	N15b			分光連星における組成差の探査 加藤則行(兵庫県立大学)
15:36	N16b			極めて X 線活動性の高い G 型星の観測 的特徴 高棹真介(国立天文台)
15:48	N17a			大質量星とブラックホールからなる相互 作用をしない連星の発見 須田拓馬(放送大学)
16:00	N18a			Wolf-Rayet 連星系 WR 102-1 の X 線光 度変動 菅原泰晴(宇宙航空研究開発機構)
16:12	N19a			W UMa 型食連星 TZ Boo の突発的異 常極小について 大島修(岡山理科大学)
16:24	N20a			VERA を用いた周期の長い OH/IR 星 NSV17351 の位置天文観測 守田篤史(鹿児島大学)
16:36	N21a			Physical properties of the fluorine and neutron capture element rich PN J900 大塚雅昭(京都大学)
16:48	N22b			Spatially-resolved study of the planetary nebula Hu1-2 with the Seimei 3.8-m/ KOOLS-IFU 大塚雅昭(京都大学)
	N23c			Physical properties of the planetary nebula Hu2-1 with Seimei/KOOLS-IFU 大塚雅昭(京都大学)
9月12日(木) 午前・F会場				
09:30	N26a			アーカイブデータから探る R CrB 型星で のダスト成長 大澤亮(東京大学)
09:42	N27a			イータ・カリーナと人形星雲の起源 平井遼介(オックスフォード大学)
09:54	N28a			ブラックホールによる白色矮星の潮汐 破壊現象からの観測兆候 川名好史朗(東京大学)
10:06	N29a			「宇宙の間欠泉」から新たに出現した 双極高速ジェットからの同時噴出ガス塊 今井裕(鹿児島大学)
10:18	N30b			野辺山 45m 電波望遠鏡を使った AGB 星周縁の ^{12}CO , ^{13}CO 輝線の撮像 甘田溪(鹿児島大学)
10:18	N31b			ヘリウム新星 V445 Puppis の歌詞近赤 外観測から推察される星周構造と時間 発展 高木健吾(広島大学)
10:18	N32b			謎の突発現象 AT2018cow の母銀河の 性質: ALMA CO($J=1-0$) 観測 諸隈佳菜(東京大学)
10:30	N33a			速い速度進化を示す Ia 型超新星 SN 2019ein の爆発初期からの観測 川端美穂(京都大学)
10:42	N34a			Radio and Submillimetre Constraints on the Pulsar-Driven Supernova Model Conor Omand (The University of Tokyo)
10:54	N35a			偏光分光観測で探る超高輝度超新星 の爆発形状 齋藤晟(東北大学)

11:06	N36a	X-ray emissions from a failed supernova and fallback heating effect 早川朝康 (京都大学)	15:00	N48a	X線ドップラー運動測定を用いた Ia 超新星残骸中における噴出物の運動状態の多様性: Kepler と Tycho の比較 春日知明 (東京大学)
11:18	N37a	SN 1987A の連星合体親星モデルに基づく3次元重力崩壊数値計算 中村航 (福岡大学)		N49c	重力崩壊型超新星の爆発エネルギー成長時間と元素合成の相関性 澤田涼 (京都大学)
9月12日(木) 午後・F会場				N50c	Probing the Progenitor Metallicity of SNe Ia with Ultraviolet Spectra Yen-Chen Pan (NAOJ)
13:00	N38a	高速自転する大質量星の3次元重力崩壊シミュレーション: low T/W 不安定による重力波の解析 柴垣翔太 (福岡大学)			
13:12	N39a	重力崩壊型超新星爆発における非対称ニュートリノ放射の元素合成への影響 藤本信一郎 (熊本高等専門学校)			
13:24	N40a	天の川銀河の r プロセス元素過剰星が示す矮小銀河降着の痕跡 青木和光 (国立天文台)			
13:36	N41a	INTEGRAL 衛星による SNR の r-process 元素崩壊核ガンマ線探査 三輪祐也 (埼玉大学)			
13:48	N42a	X線精密分光を用いた II n 型超新星 SN 1978K の元素組成比の測定 千葉友樹 (埼玉大学)			
14:00	N43a	ヘリウム伴星をもつ Ia 型超新星の星周環境 守屋堯 (国立天文台)			
14:12	N44a	星周円盤と相互作用する超新星の2次元放射流体力学シミュレーション 鈴木昭宏 (国立天文台)			
14:24	N45a	星周物質との相互作用によって輝く超新星の親星における爆発的な質量放出 栗山直人 (東京大学)			
14:36	N46a	天の川銀河とマゼラン銀河で発生した重力崩壊型超新星の親星の質量分布 勝田哲 (埼玉大学)			
14:48	N47a	ティコの超新星残骸の衝撃波速度の時間変化と爆発機構への示唆 田中孝明 (京都大学)			

P1. 星・惑星形成(星形成)

9月11日(水) 午後・D会場		10:18	P112b ALMAによる突発増光原始星 V900 Mon の観測 高見道弘(台湾中央研究院)
16:00	P101a 磁気制動を考慮した星・原始惑星系円盤の解析的モデル構築 高橋実道(国立天文台)		P113c すばる HiCIAOによる、突発増光原始星の質量降着メカニズムの解明 高見道弘(台湾中央研究院)
16:12	P102a 超大質量星形成過程における星周円盤の進化 松木場亮喜(東北大学)	10:18	P114b 近赤外 Ca II 三重輝線を用いた前主系列星の彩層活動の調査 山下真依(兵庫県立大学)
16:24	P103a ALMA Long BaselineによるFace-on大質量原始星候補天体の撮像観測2:降着円盤 元木業人(山口大学)	10:18	P115b 星形成レガシープロジェクト I: Overview 中村文隆(国立天文台)
16:36	P104a 円盤サイズ多様性の起源としての原始星進化 麻生有佑(台湾中央研究院)	10:30	P116a 星形成レガシープロジェクト II: M17 SWex の星形成 下井倉ともみ(大妻女子大学)
16:48	P105b 原始星進化シミュレーションの観測的可視化に基づく円盤同定方法の検証 麻生有佑(台湾中央研究院)	10:42	P117a 星形成レガシープロジェクト III: M17 SWex 分子雲の磁場構造 杉谷光司(名古屋市立大学)
16:48	P106b 初代星形成における原始星周りの円盤進化 木村和貴(京都大学)	10:54	P118a 星形成レガシープロジェクト IV: はくちょう座領域の研究成果 土橋一仁(東京学芸大学)
9月12日(木) 午前・D会場		11:06	P119b へび座分子雲における低質量YSOの近赤外分光観測 大出康平(埼玉大学)
09:30	P107a OMC-2における新たなExtremely High Velocity Flowの発見 松下祐子(九州大学)	11:06	P120b 銀河面低密度領域における星形成の広域探査観測 大朝由美子(埼玉大学)
09:42	P108a Class 0 低質量原始星天体 L483 のアウトフローの根元の構造 藤田孝典(東京大学)	11:06	P121b R CrA 領域における若い超低質量天体の近赤外測光探査 金井昂大(埼玉大学)
09:54	P109a 低質量原始星 IRAS 16293-2422 の10 auスケールでの円盤/エンベロープ構造 大屋瑤子(東京大学)	11:18	P122b NGC 2264 CMM3A のALMAによる0.8mm帯化学サーベイの解析 柴山良希(東京大学)
	P110c 近傍宇宙における連星形成およびアウトフローとジェット駆動 佐伯優(九州大学)	11:18	P123b 大マゼラン雲における大質量原始星に付随する分子雲のALMA観測(2) 後藤健太(大阪府立大学)
10:06	P111a 前主系列星の長期モニタリング ジェット駆動機構の解明に向けて(II) ジェットデータとの比較 高見道弘(台湾中央研究院)	11:18	P124b 大質量ホットコアにおけるメタノールの重水素濃縮度 植松海(電気通信大学)

9月12日(木) 午後・D会場		14:48	P138a Spiraling giants: witnessing the birth of a massive binary star Yichen Zhang (RIKEN)
13:00	P125a BISTRO Project Status (6) Tetsuo Hasegawa (NAOJ)	9月13日(金) 午前・D会場	
13:12	P126a BISTRO : 星形成領域における $450\mu\text{m}$ 帯ダスト熱放射偏波撮像マップ (2) 古屋玲 (徳島大学)	09:30	P139a ALMA ACA サーベイで探る Taurus 領域 分子雲コア進化の統計的研究 (1) 藤城翔 (名古屋大学)
13:24	P127a 星形成領域 NGC 1333 の磁場構造 II 土井靖生 (東京大学)	09:42	P140a Physics and Chemistry of a Low-Metallicity Hot Molecular Core in the LMC 下西隆 (東北大学)
13:36	P128a CCS 輝線の Zeeman 観測による TMC-1 OH と L1495B の磁場強度の見積もり 楠根貴成 (国立天文台)	09:54	P141a Class-0 原始星連星 VLA1623A からの不整列分子流対 川邊良平 (国立天文台)
13:48	P129a 磁場に貫かれたフィラメント状分子雲でのコア形成 : 両極性拡散の効果 工藤哲洋 (長崎大学)	10:06	P142a ALMA によるペルセウス座分子雲に対する有機分子輝線のサーベイ観測 小野真夢 (電気通信大学)
14:00	P130a Probing fragmentation and velocity sub-structure in the NGC 6334 filament 島尻芳人 (Kagoshima University/NAOJ)	10:18	P143a B335で原始星最近傍に存在するSiO輝線 今井宗明 (東京大学)
14:12	P131b 深層学習を用いた天文サーベイデータ解析 : 分子雲コアの同定 吉田大輔 (名古屋大学)	10:30	P144a オリオン KL 電波源 I における一酸化ケイ素メーザーの偏波観測 廣田朋也 (国立天文台)
14:12	P132b 野辺山 45m 望遠鏡を用いた H^{13}CO^+ , N_2H^+ 輝線観測に基づくおうし座分子雲の広域分子雲コアの探査 高嶋辰幸 (大阪府立大学)	10:42	P145a 大質量星形成領域 G 358.93-00.03 における降着バースト的増光現象の検出 杉山孝一郎 (国立天文台)
14:12	P133b VERA 及び野辺山 45m 鏡によるカリフォルニア分子雲の NGC1579 星形成領域周辺の研究 濱田翔太 (鹿児島大学)	10:54	P146a 星形成レガシープロジェクト V : オリオンA 分子雲の CARMA+NRO45m 合成データを用いて導出した高密度コアの質量関数 竹村英晃 (国立天文台)
14:24	P134b Principal Component Analysis を用いた低質量原始星 L483 の化学組成の解析 大小田結貴 (東京大学)	11:06	P147a Nobeyama Planck Project (1) Overview 立松健一 (国立天文台)
14:24	P135b 分子雲におけるフィラメント状構造の起源と星形成初期条件の解明 安部大晟 (名古屋大学)	11:18	P148a Nobeyama Planck Project (2) Gwanjeong KIM (NAOJ)
14:24	P136b Cyanopolyne Chemistry around Massive Young Stellar Objects 谷口琴美 (University of Virginia)		
14:36	P137a Investigation of ^{13}C Isotopic Fractionation of CCH in L1521B and L134N 谷口琴美 (University of Virginia)		

P2. 星・惑星形成 (原始惑星系円盤)

9月13日(金)午後・D会場		9月11日(水)午前・D会場	
13:30	P149a 多相星間媒質の実効的状态方程式と衝撃波速度依存性 小林将人(大阪大学)	11:00	P201a スパイラル構造を持つ自己重力円盤におけるダストの運動 古賀駿大(東京工業大学/九州大学)
13:42	P150a 分子雲形成シミュレーション: 自己重力の効果 岩崎一成(国立天文台)	11:12	P202a 磁気駆動円盤風によって進化する原始惑星系円盤中でのダスト粒子の成長 瀧哲朗(国立天文台)
13:54	P151a 分子雲形成シミュレーションの模擬観測 田中圭(大阪大学/国立天文台)	11:24	P203a 自由落下ダスト流に形成するダストクラスタ内部の充填率推定 長足友哉(神戸大学)
14:06	P152a 宇宙論的シミュレーションを用いた恒星間天体の衝突による初代星の金属汚染 桐原崇亘(千葉大学)	11:36	P204a ダスト合体成長における回転破壊 辰馬未沙子(東京大学/国立天文台)
14:18	P153a 低金属度ガスの温度進化や電離度について: ダスト表面反応の影響 仲内大翼(東北大学)	11:48	P205a 周木星円盤におけるダスト粒子の光泳動 荒川創太(東京工業大学)
14:30	P154a Formaldehyde deuteration in Galactic high-mass star-forming cores Sarolta Zahorecz (Osaka Prefecture University /NAOJ)	12:00	P206a ガス惑星近傍へのガスの流入と周惑星円盤の形成について 藤井悠里(名古屋大学)
14:42	P155a オリオン領域における星形成領域の変遷 西亮一(新潟大学)	12:12	P207a 原始惑星系円盤と岩石微惑星の形成過程 長谷川幸彦(東京大学)
14:54	P156a WISE 衛星アーカイブデータを用いた大質量原始星における変光探査 内山瑞穂(国立天文台)	12:24	P208a ダスト摩擦反作用に起因する巨大惑星の内側移動の停止 金川和弘(東京大学)
		12:36	P209a ALMAを用いた二周波観測によるTW Hya の原始惑星系円盤のスペクトル・インデックス分布の調査 塚越崇(国立天文台)
		12:48	P210b ダスト-ガス摩擦と乱流粘性が駆動する原始惑星系円盤の不安定性の非線形発展 富永遼佑(名古屋大学)
		12:48	P211b 三次元効果を取り入れた Type I 惑星移動の二次元数値流体計算 岡田航平(東北大学)
		12:48	P212b 超木星質量の巨大惑星による原始惑星系円盤のギャップ形成と境界条件への依存性 田中佑希(東北大学)

P3. 星・惑星形成 (惑星系)

9月11日(水) 午後・D会場		9月11日(水) 午後・E会場	
15:00	P213a 磁気圏を持つ中心星への降着に関する3次元磁気流体シミュレーション 高棹真介(国立天文台)	15:00	P301a 小惑星探査ミッション「はやぶさ2」のこれまでの成果 吉川真(宇宙航空研究開発機構)
15:12	P214a 星団形成期での周囲の星による星周円盤の破壊 長谷川大空(東京大学)	15:12	P302a リュウグウなどのコマ型小惑星の形成条件の解明に向けて:小惑星の高速自転変形の数値計算 杉浦圭祐(東京工業大学)
15:24	P215a 星形成後期過程でのオーム散逸、両極性散逸の役割について 塚本裕介(鹿児島大学)	15:24	P303a ジャコビニ・ツィナー彗星(21P/Giacobini-Zinner)の中間赤外線スペクトルに見られる未同定赤外バンド 大坪貴文(宇宙航空研究開発機構)
15:36	P216a ALMA アーカイブデータを用いた Class II 連星 XZ Tau の軌道運動の解明 市川貴教(鹿児島大学)	15:36	P304a 巨大氷惑星の天体衝突:インパクトの質量依存性 黒崎健二(名古屋大学)
15:48	P217b 分子雲コア内の同位体不均質分布と隕石内同位体異常 中本泰史(東京工業大学)	15:48	P305a タイタン大気中アセトニトリル CH ₃ CN における ¹⁴ N/ ¹⁵ N 同位体比の導出 飯野孝浩(東京大学)
15:48	P218b 円筒座標系での見かけの特異点を取り除いた数値シミュレーション法 花輪知幸(千葉大学)	16:00	P306a トリトン大気におけるヘイズ微物理モデリングとヘイズ生成率への示唆 大野和正(東京工業大学)
15:48	P219b SPICA による原始惑星系円盤からの複雑な有機分子輝線の観測予測 野村英子(国立天文台)		P307c C/2018 Y1(Iwamoto) 彗星のガス輝線の空間構造の Abel 変換による解析 長谷川隆(群馬県立ぐんま天文台)
		16:12	P308b 46P/Wirtenen の偏光撮像観測 古荘玲子(都留文科大学/国立天文台)
		16:12	P309b 「あかり」指向観測データを用いた天体カタログの作成及び Gaia DR2 と組み合わせた暖かい残骸円盤の検出 水木敏幸(宇宙航空研究開発機構)
		16:12	P310b Can hot jupiters host exomoons? Alessandro Alberto Trani (The University of Tokyo)
		16:24	P311a 近赤外高分散分光器 IRD による系外惑星のトランジット分光観測 平野照幸(東京工業大学)
		16:36	P312a 視線速度法を用いたプレアデス星団内における短周期惑星の探索 宝田拓也(埼玉大学)

16:48	P313a 視線速度法を用いた長周期連星ブラックホールの探査の提案と検証 林利憲(東京大学)	11:18	P325a 大気散逸を考慮した M 型星周りのハビタブルゾーンの再評価 山敷庸亮(京都大学)
9月12日(木) 午前・E会場		9月12日(木) 午後・E会場	
09:30	P314a 深層学習を用いた MOA-II マイクロレンズサーベイ画像におけるリアルタイムイベント検出の効率化 末松春乃(大阪大学)	13:00	P326a 巨大惑星形成モデルによる系外惑星の質量・軌道半径分布の解釈 田中秀和(東北大学)
09:42	P315a 重力マイクロレンズイベントに対する惑星(2L1S)モデルと公転軌道の効果を含めた連星ソース(1L2S)モデルの検証 宮崎翔太(大阪大学/MOAコラボレーション)	13:12	P327a 中心星近傍での木星型惑星の軌道散乱 長沢真樹子(久留米大学)
09:54	P316a 低質量比の惑星候補イベント OGLE-2018-BLG-1185/MOA-2018-BLG-228の解析 近藤依央菜(大阪大学)	13:24	P328a 中心星近傍スーパーアースの巨大衝突進化における中心星質量の影響 松本侑士(中央研究院天文及天文物理研究所)
10:06	P317a 近赤外重力マイクロレンズ探査計画 PRIME の進展 山脇翼(大阪大学)	13:36	P329a Effects of Planetary migration on the long-term orbital stability of a multi-planetary system: case of HL Tau Wang, Shijie(東京大学)
10:18	P318a 重力マイクロレンズ法を用いた系外惑星からの電波放射の観測 潮平雄太(熊本大学)	13:48	P330b 多様な惑星磁場を作る統一モデル 熱流の中の結合スピン・モデル 中道晶香(京都産業大学)
10:30	P319b 重力マイクロレンズ法による巨大ガス惑星周りの衛星存在確率に対する制限 山川竹玄(名古屋大学)	13:48	P331b 周巨大惑星における Liquid Water Belt 1: シンプルモデル 鴨川弘幸(防衛大学校)
10:30	P320b 太陽系外惑星 HAT-P-54b の近赤外線トランジット観測 伊藤洋一(兵庫県立大学)		P332c 周巨大惑星における Liquid Water Belt 2: 対流の効果 釜谷秀幸(防衛大学校)
10:30	P321b 埼玉大学 55cm 望遠鏡 SaCRA/MuSaSHI を用いた系外惑星の多波長トランジット測光観測 石岡千寛(埼玉大学)		P333c M 型矮星周りで実現可能な光合成色素の理論的探索 小松勇(アストロバイオロジーセンター/国立天文台)
10:42	P322a 立命館大学天文台による系外惑星 WASP-52b のトランジット観測と解析 森正樹(立命館大学)		
10:54	P323a 地上望遠鏡による TRAPPIST-1g 大気のトランジット分光観測と解析 森万由子(東京大学)		
11:06	P324a 地球型惑星の原始大気構造に対する水蒸気混入の効果の精査と獲得水量予測 木村真博(東京大学)		

Q. 星間現象

9月11日(水) 午前・B会場		12:48	Q14b	低金属環境における超音速星間乱流 中津川大輝(名古屋大学)
11:00	Q01a	9月11日(水) 午後・B会場		
		15:00	Q15a	<i>Chandra</i> 衛星による Tycho's SNR の縞状非熱的 X 線放射の時間発展観測 松田真宗(京都大学)
11:12	Q02a	15:12	Q16a	<i>Chandra</i> 衛星による超新星残骸 G344.7-0.1 の観測 福島光太郎(東京理科大学)
		15:24	Q17a	<i>Chandra</i> 衛星を用いた重力崩壊型超新星残骸 N132D の膨張構造解析 畠内康輔(東京大学)
11:24	Q03a	15:36	Q18a	XMM-Newton RGS を用いた超新星残骸 N132D の高分解能 X 線分光解析 鈴木瞳(首都大学東京)
		15:48	Q19a	超新星残骸 N49 の X 線精密分光スペクトルにおける共鳴散乱の兆候の発見 天野雄輝(京都大学)
11:36	Q04a	16:00	Q20a	30 Doradus 複合領域における中性鉄輝線の調査 信川久美子(奈良女子大学)
		16:12	Q21a	小マゼラン雲の超新星残骸 RX J0046.5-7308 に付随する分子雲の発見 佐野栄俊(名古屋大学)
11:48	Q05a	16:24	Q22a	超新星残骸候補 G189.6+3.3 の X 線スペクトル 山内茂雄(奈良女子大学)
		16:36	Q23a	Boomerang パルサー風星雲と超新星残骸 G106.3+02.7 からの超高エネルギーガンマ線放射 岡知彦(京都大学)
12:00	Q06a	16:48	Q24a	超新星残骸 RX J1713.7-3946 北西領域の hot-spot の解明 日暮凌太(立教大学)
12:12	Q07b			
12:12	Q08b			
12:12	Q09b			
12:24	Q10a			
12:36	Q11a			
12:48	Q12b			
	Q13c			

Q. 星間現象

9月12日(木) 午前・B会場		9月12日(木) 午後・B会場	
09:30	Q25a チベット空気シャワー観測装置による100 TeV 領域ガンマ線の観測 大西宗博(東京大学)	13:00	Q35a 宇宙線圧効果入り磁気浮力不安定:ガス垂直構造の発展と非線形時間スケール 横山央明(東京大学)
09:42	Q26a 多重電離効果を用いた FeK α 輝線精密分光観測による宇宙線中の準相対論的重イオンの探索 尾近洗行(京都大学)	13:12	Q36a 乱流による多相星間媒質の構造形態について Goux Pierre(東北大学)
09:54	Q27a NuSTAR 衛星による超新星残骸 W44 の拡散硬 X 線成分の観測 内田裕之(京都大学)	13:24	Q37a NRO銀河面サーベイプロジェクト(FUGIN): 銀河系内域における分子雲同定 3 齋藤弘雄(筑波大学)
10:06	Q28a すざく衛星による W51 領域からの中性鉄輝線の発見(2) 嶋口愛加(奈良女子大学)	13:36	Q38a FUGINデータを用いた天の川銀河のガス密度頻度分布1:分解能の効果 半田利弘(鹿児島大学)
10:18	Q29a 2次元極座標分割による SNR G1.9+0.3 の膨張速度の精密測定 伊藤颯一郎(早稲田大学)	13:48	Q39a NH ₃ 輝線を用いた大質量星形成領域W33のマッピングサーベイ 村瀬建(鹿児島大学)
10:30	Q30a 過電離プラズマの形成における周辺環境の影響 桂川美穂(東京大学)	14:00	Q40a 野辺山45m電波望遠鏡を用いた星形成領域CMa OB1のNH ₃ 輝線観測 平田優志(鹿児島大学)
10:42	Q31a 超高温プラズマと低温ガスの相互作用の運動論的解析 西田直樹(名古屋大学)	14:12	Q41a 銀河系 Local Spur における分子ガスの密度進化 西村淳(大阪府立大学)
10:54	Q32a 超新星爆発による過電離プラズマ形成の理論的研究 中西佑太(名古屋大学)	14:24	Q42a 分子雲衝突をトリガーとする電離水素領域W28Aの大質量星形成シナリオ 林克洋(名古屋大学)
11:06	Q33a ファラデートモグラフィーを用いた超新星残骸の磁場研究 出口真輔(Radboud University Nijmegen)	14:36	Q43a 大マゼラン雲のスーパーバブル30 Doradus C における大質量星形成 山根悠望子(名古屋大学)
11:18	Q34a 天の川銀河中心部における磁場と熱進化を考慮した星間雲の動力学 柿内健佑(名古屋大学)	14:48	Q44a Further testing of amorphous dust model toward high precision foreground removal from CMB data 梨本真志(東北大学)

R. 銀河

9月13日(金) 午前・B会場		9月13日(金) 午前・F会場	
09:30	Q45a 遠方分子吸収線系B0218+357に対するALMAを用いた水素化リチウム観測 吉村勇紀(東京大学)	09:30	R01a 渦巻銀河のスピンパリティ-I: 全ての渦巻きは Trailing 家正則(国立天文台)
09:42	Q46a M51の渦状腕領域における70 GHz帯高感度観測 渡邊祥正(日本大学)	09:42	R02a 渦巻銀河のスピンパリティ-II: ディープラーニングとすばる望遠鏡のビックデータをを用いた銀河の形態分類 但木謙一(国立天文台)
09:54	Q47a Spitzer/IRSによるM17SW領域における星間氷のマッピング観測 山岸光義(宇宙航空研究開発機構)	09:54	R03a 銀河系渦状腕および Galactic Warp の動力学構造 坂井伸行(Korea Astronomy and Space Science Institute)
10:06	Q48a CH ₃ NH ₂ の生成経路 鈴木大輝(アストロバイオロジーセンター)	10:06	R04a 棒渦巻銀河における分子雲の物理状態 堀江秀(北海道大学)
10:18	Q49a 銀河中心Sagittarius B2(N)のエンベロープにおける有機分子CH ₃ CNの検出 荒木光典(東京理科大学)	10:18	R05a 強い棒渦巻銀河 NGC1300 における星形成の抑制 2 前田郁弥(京都大学)
	Q50c 生体関連分子のabioticな生成過程の理論的解明 小松勇(アストロバイオロジーセンター/国立天文台)	10:30	R06a NRO レガシープロジェクト COMING (26): CO(J=2-1)/CO(J=1-0) 輝線強度比と銀河の星形成活動 矢島義之(北海道大学)
	Q51c 急冷窒素含有炭素質物質の赤外分光特性 遠藤いずみ(東京大学)	10:42	R07a A Method for Reconstruction of Masked Pixels: Application in CO Multi-line Imaging of Nearby Galaxies (COMING) Suchetha Cooray (Nagoya University)
		10:54	R08a 高密度分子ガス観測から考察する銀河円盤内の分子ガスと星形成活動 柴田修吾(北海道大学)
		11:06	R09b NRO レガシープロジェクト COMING(27): 銀河環境間の分子ガス、星質量中心集中度の比較 金子紘之(国立天文台)
		11:06	R10b Spatially-resolved CO(2-1)/CO(1-0) Ratio in NGC 1365 Fumi Egusa (The University of Tokyo)
		11:06	R11b ALMA 望遠鏡による NGC1808 中心の星形成領域の多輝線観測 入倉柚貴(関西学院大学)

11:18	R12b	ALMA 観測による NGC 253 円盤領域の分子ガス速度構造の調査 小西諒太郎 (大阪府立大学)	14:42	R23a	MUSE/ALMA/HST を用いた早期型銀河 NGC1380 のダークマター分布の測定 津久井崇史 (総合研究大学院大学)
11:18	R13b	ALMA による渦巻銀河 M33 の巨大分子雲の高分解能観測 (1): 観測の概要 近藤滉 (大阪府立大学)	14:54	R24a	矮小不規則銀河 NGC 6822 の外縁部に分布する淡い水素輝線放射領域の発見 小宮山裕 (国立天文台)
11:18	R14b	統計平衡計算による近傍銀河 NGC 3627 における分子雲の物理状態の推定 柴田和樹 (筑波大学)	15:06	R25a	Finding New Strong Gravitational Lens Systems from HSC Survey Anton Timur Jaelani (Kindai University)
	R15c	近傍の HI-deficient galaxies の観測的性質 III: H ₂ ガスの寄与 隈井泰樹 (熊本学園大学)			
	R16c	非等方的速度分布の初期条件の下での球状星団の力学的進化 高橋広治 (埼玉工業大学)			
9 月 13 日 (金) 午後・F 会場					
13:30	R17a	ALMA による NGC 1068 の高分解能イメージング・ラインサーベイ観測 中島 拓 (名古屋大学)			
13:42	R18a	衝撃波トレーサー分子の高空間分解能観測で探る活動銀河核の特異な HCN/HCO ⁺ 輝線強度比の起源 谷口暁星 (名古屋大学)			
13:54	R19a	電波偏波観測データによる近傍渦巻銀河の大局的磁場構造 I: 磁場ベクトルマップの作成法 中西裕之 (鹿児島大学)			
14:06	R20a	電波偏波観測データによる近傍渦巻銀河の大局的磁場構造 II: NGC6946 の大局的磁場構造について 藏原昂平 (鹿児島大学)			
14:18	R21a	銀河系面内のセファイドを利用した磁場構造解析 II 善光哲哉 (京都大学)			
14:30	R22a	衝突銀河 NG 3256 における隠された星形成活動 (MUSE/VLT and ALMA 観測) 道山知成 (国立天文台)			

S. 活動銀河核

9月11日(水) 午前・C会場		15:12	S12a	多波長 VLBI 観測によるクェーサー 3C 273 のジェット収束領域の特定 II 沖野大貴(東京大学)	
11:00	S01a	EHT による M87* の観測成果 I: Overview 本間希樹(国立天文台)			
11:12	S02a	EHT による M87* の観測成果 II: データ処理および較正過程 小山翔子(台湾中央研究院)	15:24	S13a	ブラックホール磁気圏での遷磁気音速 ジェット加速 高橋真聡(愛知教育大学)
11:24	S03a	EHT による M87* の観測成果 III: 画像化手法および M87* のファーストイメージ 秋山和徳(アメリカ国立電波天文台)	15:36	S14a	磁場反転ジェットの伝搬ダイナミクス 松本仁(福岡大学)
11:36	S04a	EHT による M87* の観測成果 IV: 画像化方法の評価とリング構造の抽出 田崎文得(国立天文台)	15:48	S15a	確率過程モデルを用いたジェット天体の多波長光度曲線解析 大間々知輝(広島大学)
11:48	S05a	EHT による M87* の観測成果 V: 非対称リング放射構造の理論解釈 當真賢二(東北大学)	16:00	S16a	ガンマ線を発する電波銀河の X 線統計解析 眞武寛人(広島大学)
12:00	S06a	EHT による M87* の観測成果 VI: ブラックホールパラメータの推定 笹田真人(広島大学)	16:12	S17a	Chandra 衛星による活動銀河 NGC 1068 中心核近傍の X 線空間分解観測(2) 中田諒(大阪大学)
12:12	S07a	フレア状態の M87 における三日月状シャドウ: 2020 年代の EHT に向けた新しいブラックホール・スピン測定法 川島朋尚(国立天文台)	16:24	S18a	Rotating Ionized Gas Ring around the Galactic Center IRS13E3 Masato Tsuboi (ISAS/JAXA)
12:24	S08a	EHT による Sgr A* への落下ガス雲の直接撮像を用いたブラックホールスピン測定 森山小太郎(マサチューセッツ工科大学)	16:36	S19b	VERA(GENJI)/KaVA/VLBA で探る 3C 84 ジェットの電波構造および超光速運動 平野あゆみ(山口大学)
12:36	S09a	M87-EHT-2017 キャンペーンに同期した東アジア VLBI ネットワーク観測で迫る、ブラックホール-ジェットコネクション 秦和弘(国立天文台)	16:36	S20b	銀河中心核トラスにおける輻射圧を考慮した磁気流体数値実験 工藤祐己(鹿児島大学)
12:48	S10a	日韓合同 VLBI 観測網で探る M87 ジェット速度場のプロファイル計測 紀基樹(工学院大学/国立天文台)	16:36	S21b	広帯域 X 線スペクトルで探るセイファート 1 型銀河のトラス特性 小川翔司(京都大学)
			16:48	S22b	マルコフ連鎖モンテカルロ法によるプレーザー Mrk 421 の SED モデルパラメータ推定 植村誠(広島大学)
				S23c	MCMC 法を用いたアウトフロー吸収線の model-fit 方法の提案 石田大(信州大学)
9月11日(水) 午後・C会場				S24c	BAL 視線上に位置する intrinsic NAL absorber の光源距離の概算 伊東大輔(信州大学)
15:00	S11a	M87 ジェット地平面領域の構造解明 放射輸送計算による EHT 偏波イメージの理論予測 恒任優(京都大学)		S25c	IceCube-170922A 発生後の TXS 0506+056 におけるパーセクスケールジェットの構造変化 新沼浩太郎(山口大学)

T. 銀河団

9月12日(木) 午前・C会場		9月11日(水) 午前・E会場			
09:30	S26a	MAXIとWISEで実現する2型活動銀河核 NGC 2110 のダスト反響マッピング 野田博文(大阪大学)	11:00	T01a	銀河団外縁部の観測に対する前景放射の影響の評価II 杉山剣人(東京理科大学)
09:42	S27a	Discovery of Dying Active Galactic Nucleus in Arp 187: Experience of Drastic Luminosity Decline within 10 ⁴ yr Kohei Ichikawa (Tohoku University)	11:12	T02a	銀河団外縁部に存在するガス塊の探査 上田将暉(東京理科大学)
09:54	S28a	Changing-look AGN Mrk 590 の紫外可視光度の急減光に伴うダストトラス内縁付近でのダスト粒子生成 小久保充(東北大学)	11:24	T03a	X線天文衛星 XMM-Newton を用いた初期衝突銀河団 CIZA1359 の構造解析 山口友洋(名古屋大学)
10:06	S29a	Changing Look AGN 降着流の3次元放射磁気流体シミュレーション 五十嵐太一(千葉大学)	11:36	T04a	機械学習を用いた電波の音響ショックの探索 パール・シュテファン(兵庫県立大学)
10:18	S30a	広吸収線の短時間変動を示すクエーサーの光度-等価幅変動の関係 堀内貴史(国立天文台)	11:48	T05a	弱重力レンズ効果による Shapley Supercluster 領域の質量分布測定 樋口祐一(国立天文台/近畿大学)
10:30	S31a	BALクエーサーSDSS J004659.89+180739.6 に見られる高速アウトフローの場所について 青木賢太郎(国立天文台)	12:00	T06a	HSC-SSP サーベイ領域 Weak Lensing 銀河団のX線フォローアップ計画(5) 吉田篤史(名古屋大学)
10:42	S32a	ALMAによるNGC1275の分子ガス核周円盤と高速アウトフローの発見 永井洋(国立天文台)	12:12	T07a	New constraints on the mass bias of galaxy clusters from the power spectra of the thermal Sunyaev-Zeldovich effect and cosmic shear 真喜屋龍(東京大学)
10:54	S33a	超臨界降着活動銀河核をもつ近傍銀河 NGC 5728 における空間分解された分子ガスアウトフローの検出 山下祐依(東京大学)	12:24	T08a	原始銀河団中ガスのメタル進化 福島啓太(大阪大学)
11:06	S34a	ALMA Resolves Jet-driven Molecular Outflows in the Lensed QSO MGJ 0414+0534 井上開輝(近畿大学)	12:36	T09a	N体シミュレーションを用いた銀河団ダークハローの質量集積の精密測定 白崎正人(国立天文台)
11:18	S35a	超高光度赤外線銀河 IRAS 17208-0014 の「あかり」・ALMA 観測の比較 馬場俊介(国立天文台)	12:48	T10b	Galaxy Clusters in the AKARI North Ecliptic Pole Field Ting-Chi Huang (SOKENDAI/JAXA)

U. 宇宙論

9月13日(金) 午前・G会場			U13c 原初磁場と有質量ニュートリノの弱重力レンズ効果に対する影響の考察 山崎大(茨城大学/国立天文台)
09:30	U01a ビッグバン以前、電磁気達が集まった状態のエネルギーと質量と大きさと体積と比重、及び、ビッグバン後、電子のラブと陽子のラブのエネルギーと質量と大きさと体積と比重の変化 小堀しづ		U14c ブラックホールとビッグバン 小堀しづ
09:42		9月13日(金) 午後・G会場	
09:42	U02a 原始ブラックホールにより生じる Kinetic Sunyaev-Zel'dovich 効果の非等方性 阿部克哉(名古屋大学)	13:30	U15a 宇宙大規模構造整合性関係式と多点相関関数におけるバリオン音響振動の兆候 西道啓博(京都大学)
09:54	U03a CMB 偏光観測実験 POLARBEAR の重力レンズ及び原始重力波探査サーベイの最新結果 茅根裕司(カリフォルニア大学)	13:42	U16a Intrinsic alignments of halo orientations with velocity field and the baryon acoustic oscillation features Teppei Okumura (ASIAA)
10:06	U04a CMB 弱重力レンズ効果と 21cm線相互相関の検出可能性と宇宙論パラメータの制限 田中章一郎(熊本大学)	13:54	U17a N 体シミュレーションを用いた大規模構造とハロー形状の相関測定 栗田智貴(Kavli IPMU)
10:18	U05a 原始磁場と暗黒時代における kSZ 効果 箕田鉄兵(名古屋大学)	14:06	U18a 粒子軌道に基づくダークマターハロー動径位相構造の解析 杉浦宏夢(京都大学)
10:30	U06a KS テストを用いたダークマターの密度ゆらぎの再構築 吉田貴一(名古屋大学)	14:18	U19a HSC サーベイ初年度データのコスミックシア二点相関関数測定と宇宙論パラメータの制限 浜名崇(国立天文台)
10:42	U07a A fitting formula of non-linear matter bispectrum 高橋龍一(弘前大学)	14:30	U20a 広天域銀河サーベイデータの宇宙論解析における摂動論的手法の有効性の検証 杉山素直(Kavli IPMU)
10:54	U08a 銀河の赤方偏移空間パワースペクトルの宇宙論的情報 小林洋祐(Kavli IPMU)	14:42	U21a HSC データを用いたフィラメント構造の弱重力レンズ効果測定 近藤寛人(名古屋大学)
11:06	U09a Super-sample tidal mode on the celestial sphere 秋津一之(Kavli IPMU)	14:54	U22a H0LiCOW: An independent constraint on H_0 from time-delay lenses Kenneth Wong (Kavli IPMU)
11:18	U10a 観測的相対論効果によって生じる大規模構造の双極子的非等方性の準線形理論モデル 嵯峨承平(京都大学)	15:06	U23a Luminosity-Duration Relation of Fast Radio Bursts:a new tool for precision cosmology 橋本哲也(国立清華大学)
11:30	U11b MOA-II 望遠鏡を用いた低質量原始ブラックホールの探査 藤井大翔(名古屋大学)	15:18	U24a 重力波の余剰な偏波の観測的検証に向けて 浅田秀樹(弘前大学)
11:30	U12b ブラックホール 小堀しづ		

V1. 観測機器

V1. 観測機器 (電波)

9月12日(木) 午後・C会場		14:24	V115b	へら絞り法を用いた口径 2m サブミリ波アンテナ面測定 三好真(国立天文台)	
13:00	V101a	大阪府大 1.85 m 望遠鏡 210-375 GHz 帯 同時観測用導波管フィルタの開発 増井翔(大阪府立大学)	14:24	V116b	NANTEN2 マルチビーム受信機の開発 および搭載試験の進捗報告 木村公洋(名古屋大学)
13:12	V102b	1.85 m 望遠鏡 210-370 GHz 帯 広帯域光学系の開発進捗 -ビーム伝送系及びコルゲートホーン的设计- 山崎康正(大阪府立大学)	14:24	V117b	NASCO 受信機光学系のビーム性能評価 阪本茉莉子(名古屋大学)
13:12	V103b	大阪府大 1.85 m 望遠鏡 広帯域観測へ向けた局部発振器系の検討 横山航希(大阪府立大学)		V118c	Study of surface alignment for Tsukuba Antarctic 10-m radio telescope by near field phase retrieval holography Bin ZHOU (University of Tsukuba)
13:12	V104b	1.85m 電波望遠鏡 / 受信機制御のためのシステム開発 近藤滉(大阪府立大学)	9月13日(金) 午前・C会場		
13:24	V105a	SKA プロジェクトに向けた科学検討 2 赤堀卓也(国立天文台)	09:30	V119a	Update on ALMA Operations and Development Program - Autumn 2019 Alvaro Gonzalez (NAOJ)
13:36	V106a	広帯域フィードの開発 (XVI) 氏原秀樹(情報通信研究機構)	09:42	V120a	IF 4-20 GHz を有する RF 275-500 GHz サイドバンド分離型 SIS ミキサの評価 小嶋崇文(国立天文台)
13:48	V107a	那須電波干渉計が捉えた Cyg X-3 で最近起きた巨大フレア 大師堂経明((一社)電波天文学研究会)	09:54	V121a	フリースペース法を用いた誘電率測定系の構築とその光学系の評価 坂井了(国立天文台)
14:00	V108a	成層圏気球 VLBI 観測の実現に向けた地上実験 下向怜歩(東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	10:06	V122a	サブミリ波帯反射防止構造の作製と評価 江崎翔平(国立天文台)
14:12	V109b	SPART 10-m 電波望遠鏡を用いた 230 GHz 国際ミリ波 VLBI 観測 青木貴弘(山口大学)	10:18	V123a	次世代 FITS ビューワ Vissage の開発 : 偏波表示機能 2 川崎涉(国立天文台)
14:12	V110b	水沢 10m 電波望遠鏡用の L 帯受信システムの開発 亀谷收(国立天文台)	10:30	V124b	Flow-down from the Top-Level Requirements to System Requirements for the ALMA Development 永井洋(国立天文台)
	V111c	大学 VLBI 連携の国立天文台 A プロジェクト化 藤沢健太(山口大学)	10:30	V125b	ASTE の運用 (3) 阪本成一(国立天文台)
	V112c	VERA-upgrade for EAVN 計画の進捗 IV 小山友明(国立天文台)	10:30	V126b	多色連続波カメラ用 FPC 広帯域バンドパスフィルタの多段パターン最適化 宇野慎介(東京大学)
14:12	V113b	高萩/日立32m電波望遠鏡の整備状況 (19) 米倉覚則(茨城大学)		V127c	SIS ミキサのデバイス製造プロセス標準化への取り組み 宮地晃平(国立天文台)
	V114c	拡張相互相関分光法による 6.7GHz メタノールメーザー解析 岳藤一宏(情報通信研究機構)			

	V128c ミリ波受信機の高感度化に向けた局部発振信号の雑音特性改善の研究 入山奨基(名古屋大学)	9月13日(金) 午後・C会場
	V129c ミリ波分光観測装置における多分子輝線同時観測 IF 系の開発 小瀬垣貴彦(名古屋大学)	13:30 V136a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD ミッション定義フェーズ III 関本裕太郎(宇宙航空研究開発機構)
10:42	V130a Development of DESHIMA 2.0: Upgrade design overview Yoichi Tamura (Nagoya University)	13:42 V137a LiteBIRD 低温ミッション部スケールモデルを用いた熱モデル検証 長谷部孝(宇宙航空研究開発機構)
	V131c 位置 - 速度図描画用ソフトウェア PVmap の開発 川崎優太(東京学芸大学)	13:54 V138a スケールモデルを用いた LiteBIRD 低周波望遠鏡の偏光特性評価 高倉隼人(東京大学/宇宙航空研究開発機構)
10:54	V132a 野辺山 45 m 電波望遠鏡搭載用 100-GHz 帯 109 素子電波カメラの開発: 柱状晶 Si レンズおよび真空窓の反射防止対策 新田冬夢(筑波大学)	14:06 V139a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD における系統誤差の研究 XIII 永田竜(高エネルギー加速器研究機構)
11:06	V133a 野辺山 45 m 電波望遠鏡搭載用 100-GHz 帯 109 素子電波カメラの開発: 焦点面 MKID アレイの Al-NbTiN ハイブリッド化 永井誠(国立天文台)	14:18 V140a 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測実験 POLARBEAR-2 - 観測開始に向けた観測サイトでの準備状況 長谷川雅也(高エネルギー加速器研究機構)
11:18	V134a 電波点回折干渉計 (IV) 奥村大志(筑波大学)	14:30 V141a POLARBEAR-2A 較正光源の現地への設置と運用 金子大輔(Kavli IPMU)
11:30	V135b LiteBIRD 搭載光学系の開発検 3 鹿島伸悟(国立天文台)	14:42 V142a Simons Array 実験のための赤外線カメラによる雲モニターの開発 高倉理(Kavli IPMU)
		14:54 V143a CMB 観測実験 GroundBIRD における最終試験ならびに観測サイト整備状況 長崎岳人(理化学研究所)
		15:06 V144a CMB 望遠鏡群実験 Simons Observatory の研究計画と Optics Tube の開発状況 松田フレドリック(Kavli IPMU)

V2. 観測機器 (光赤外線・その他)

9月11日(水) 午前・H会場		12:36	V213a 超精密切削加工によるSWIMS-IFUスリットミラーアレイ本加工 櫛引洗佑(東京大学)
11:00	V201a せいめい望遠鏡Ⅰ: 観測開始 長田哲也(京都大学)	12:48	V214a 木曾超広視野高速CMOSカメラTomo-e Gozen 酒向重行(東京大学)
11:12	V202a せいめい望遠鏡Ⅱ 分割主鏡の制御と光学調整 木野勝(京都大学)	9月11日(水) 午後・H会場	
11:24	V203a せいめい望遠鏡Ⅲ: 機械計測で製作したせいめい望遠鏡の副鏡と第三鏡の光学性能 栗田光樹夫(京都大学)	15:00	V215a 大型低温重力波望遠鏡KAGRAにおける迷光雑音の対策 阿久津智忠(国立天文台)
11:36	V204a せいめい望遠鏡搭載にむけた太陽系外惑星撮像装置の開発 山本広大(京都大学)	15:12	V216a 大型低温重力波望遠鏡KAGRAにおける防振装置のための制御系の開発Ⅱ 藤井善範(東京大学)
11:48	V205b せいめい望遠鏡搭載に向けたコロナグラフSPLINEの開発状況 村上尚史(北海道大学)	15:24	V217a スペース重力波望遠鏡LISAに向けた機器開発 和泉究(宇宙航空研究開発機構)
	V206c せいめい望遠鏡にむけた極限補償光学の開発: 制御アルゴリズム開発のためのシミュレータ 藤田勝(大阪電気通信大学)	15:36	V218a TMT計画-主鏡セグメントの量産Ⅲ 大屋真(国立天文台)
	V207c せいめい望遠鏡にむけた極限補償光学装置の開発: FPGAによる制御装置の実現 入部正継(大阪電気通信大学)		V219c 炭素繊維複合材を用いた軽量鏡基板の開発 樽田順(京都産業大学)
11:48	V208b 京都大学飛騨天文台60cm反射望遠鏡観測に向けた整備状況 木村剛一(京都大学)	15:48	V220a ULTIMATE-START: すばる望遠鏡レーザートモグラフィ補償光学の開発(Ⅳ) 寺尾航暉(東北大学)
11:48	V209b 太陽粒状斑を用いたAO/GLAOの実験 三浦則明(北見工業大学)	16:00	V221b シャックハルトマン型波面センサー用マイクロレンズアレイの集光効率測定 寺尾航暉(東北大学)
12:00	V210a 東京大学アタカマ天文台TAO 6.5m望遠鏡計画の進捗状況 吉井讓(東京大学)	16:00	V222b ULTIMATE-START: 数値シミュレーションを用いたレーザートモグラフィ補償光学の性能評価 大野良人(国立天文台)
12:12	V211a TAO 6.5m望遠鏡用近赤外線観測装置SWIMS: すばる望遠鏡での試験観測報告 小西真広(東京大学)	16:00	V223b 補償光学系を用いた大気ゆらぎの高さ分布推定法の開発 大金原(東北大学)
12:24	V212a TAO 6.5m望遠鏡用中間赤外線観測装置MIMIZUKU: すばる望遠鏡における第二回試験観測 上塚貴史(東京大学)	16:12	V224a すばる望遠鏡用極限補償光学装置「SCExAO」による近赤外線偏光観測 工藤智幸(国立天文台)

16:24	V225a 8分割位相マスクコロナグラフのための ダークホール制御技術の開発 一円光(北海道大学)	10:42	V237b 光子計数法による可視光観測システム の開発 中森健之(山形大学)
16:36	V226a 広帯域コロナグラフ観測を目指した多 層8分割位相マスクの開発 土生圭一郎(北海道大学)	10:54	V238a 複数輝線が混入する狭帯域撮像画像 に適用する、二次計画法(Quadratic Programming)を用いた各輝線成分抽 出方法の開発 三戸洋之(東京大学)
16:48	V227b 8分割位相マスクとバイナリ瞳を併用し たコロナグラフ:すばる用詳細設計 西川淳(国立天文台/総合研究大学院 大学/Astrobiology Center)	V239c 西はりま VTOS によるスペックルデー タを用いた連星の測定と評価(2) 桑村進(北見工業大学)	
16:48	V228b IRSF 望遠鏡に搭載する近赤外線分光器 の開発 國生拓摩(名古屋大学)	V240c 最尤推定法による EMCCD スペックル データからの物体像再生 桑村進(北見工業大学)	
9月12日(木) 午前・H会場		V241c 連星スペックル像画素値の相対度数分 布からの等級差推定 桑村進(北見工業大学)	
09:30	V229a HSC-SSP のデータ解析進捗報告:第 2回世界公開(PDR2)と次期共同研究 者向けリリース(S19A)に向けた準備 瀧田怜(NAOJ)	11:06	V242a 国際大気球太陽観測ミッション 「SUNRISE-3」/近赤外線偏光分光観 測装置(SCIP)搭載のスクランミラー機 構の開発 大場崇義(宇宙航空研究開発機構)
09:42	V230a SuMIRe-PFS[13]:プロジェクト概要と装 置開発進捗状況まとめ 2019 年秋季 田村直之(Kavli IPMU)	11:18	V243a 宇宙赤外線背景放射観測ロケット実験 CIBER-2:プロジェクト進捗状況 松浦周二(関西学院大学)
09:54	V231a SuMIRe-PFS[14]:装置性能評価の現状 矢部清人(Kavli IPMU)		
10:06	V232a Subaru Prime Focus Spectrograph に おける二次元パイプライン開発の現状 (SuMIRe-PFS[15]) 仲村佳悟(Kavli IPMU)		
10:18	V233a SuMIRe-PFS[16] HSC+PFS サイエンス データベース ver.2 の開発 2 山田善彦(国立天文台)		
10:30	V234a SuMIRe-PFS[17]: PFS の科学運用の 検討の進捗状況報告 小野寺仁人(国立天文台)		
10:42	V235b SuMIRe-PFS[18]: PFS 分光器モジュ ール用クリーンルーム制御システム 吉田裕茂(国立天文台)		
10:42	V236b HSC 巨大天体カタログの高速検索に向 けた次世代データベースの開発 古澤久徳(国立天文台)		

V3. 観測機器 (X線・ γ 線)

9月12日(木) 午後・H会場		9月11日(水) 午前・G会場	
13:00	V244a 小型 JASMINE 計画の全般的状況 郷田直輝(国立天文台)	11:00	V301a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告(16) 窪秀利(京都大学)
13:12	V245b 小型 JASMINE における高精度星像位置決定の実証実験 矢野太平(国立天文台)	11:12	V302a CTA 大口径望遠鏡初号機のカメラの較正と試験観測 齋藤隆之(東京大学)
13:12	V246b 小型 JASMINE 迷光防止フードのトレードオフ検討 鹿島伸悟(国立天文台)	11:24	V303a SMILE-2+:MeV ガンマ線気球観測における高エネルギー事象の解析 中村優太(京都大学)
13:12	V247b 小型 JASMINE 衛星の要素技術検証 IV 上田暁俊(国立天文台)	11:36	V304a ガンマ線バーストを用いた初期宇宙・極限時空探査計画 HiZ-GUNDAM の進捗 米徳大輔(金沢大学)
13:24	V248a 小型 JASMINE の解析ソフトウェアの開発 山田良透(京都大学)	11:48	V305a HiZ-GUNDAM 搭載 CMOS イメージセンサーの放射線耐性評価 荻野直樹(金沢大学)
13:36	V249a SPICA (次世代赤外線天文衛星): 日欧共同推進による Phase A 検討の現状 金田英宏(名古屋大学)	12:00	V306a 重力波源 X 線対応天体探査計画 Kanazawa-SAT ³ フライトモデル製作状況(4) 澤野達哉(金沢大学)
13:48	V250a SPICA 冷却系の構成配置検討 中川貴雄(宇宙航空研究開発機構)	12:12	V307a Kanazawa-SAT ³ 搭載広視野 X 線撮像検出器フライトモデルの性能評価 宮尾耕河(金沢大学)
14:00	V251a SPICA 搭載ジュール・トムソン冷凍機用「直線型熱交換器」の性能評価 福岡遥佳(東京大学)	12:24	V308a Kanazawa-SAT ³ 搭載ガンマ線検出器プロトフライトモデルの開発 渡辺彰汰(金沢大学)
14:12	V252a SPICA 搭載焦点面観測装置の検討の現状 松原英雄(宇宙航空研究開発機構)	12:36	V309a GRB 位置決定超小型衛星 CAMELOT を見据えた光検出素子 MPPC の基礎特性評価 廣瀬憲吾(広島大学)
14:24	V253a SPICA 搭載中間赤外線観測装置 SMI の Phase A 活動の進捗 磯部直樹(宇宙航空研究開発機構)	12:48	V310a GRB 位置決定超小型衛星 CAMELOT を見据えた光検出素子 MPPC の陽子線耐性の性能評価 平出尚義(広島大学)
14:36	V254a SPICA/SMI 搭載用 1K × 1K Si:Sb BIB 赤外線検出器の開発 和田武彦(宇宙航空研究開発機構)		V311c 全天 MeV ガンマ観測衛星計画 AMEGO の現状と日本の関わり 深沢泰司(広島大学)
14:48	V255a Mission Concept Studies for the 2020 Decadal Survey ; Origins Space Telescope (OST) 左近樹(東京大学)		
	V256c Solar-C_EUVST(高感度 EUV-UV 分光望遠鏡衛星)望遠鏡構造設計進捗 末松芳法(国立天文台)		

9月11日(水) 午後・G会場		9月12日(木) 午前・G会場	
15:00	V312a 軟X線から硬X線の広帯域を高感度で撮像分光する小型衛星計画FORCEの現状(9) 鶴剛(京都大学)	09:30	V321a ダークパリオオン探査ミッション Super DIOSの開発へ向けた検討 IV 佐藤浩介(埼玉大学)
15:12	V313a 小型衛星計画 FORCE 用の X 線反射鏡開発の現状(2) 井出峻太郎(大阪大学)	09:42	V322a 電鍍技術を用いた飛翔体搭載用高角度分解能多重薄板型 X 線望遠鏡の開発 竹原佑亮(名古屋大学)
15:24	V314a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 38: X 線 SOI ピクセル検出器の軟 X 線性能評価 児玉涼太(京都大学)	09:54	V323a 地球磁気圏 X 線撮像計画 GEO-X (GEOspace X-ray imager) の現状 江副祐一郎(首都大学東京)
15:36	V315a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 39: 新規構造を導入した X 線 SOI ピクセル検出器の放射線耐性の評価 林田光揮(東京理科大学)	10:06	V324a MEMS 技術を用いた超軽量 X 線望遠鏡の ALD による Pt 膜付加工 伊師大貴(首都大学東京)
15:48	V316a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 40: イベント駆動読み出しにおけるヒットパターン処理回路の評価 日田貴熙(宮崎大学)	10:18	V325a 超薄膜グラフェンを用いた飛翔体搭載用軟 X 線光学素子の開発 中山恵理子(名古屋大学)
16:00	V317a CMOS イメージセンサを用いた硬 X 線撮像偏光計の開発 小高裕和(東京大学)	10:30	V326a 炭素繊維強化プラスチック(CFRP)への X 線反射面形成法の開発 III 大上千智(愛媛大学)
16:12	V318a シンクロトロン放射光を用いた高エネルギー X 線偏光計の性能評価 大久保美穂(東京理科大学/理化学研究所)	10:42	V327a CubeSAT 搭載を目指した Kirkpatrick-Baez 型 X 線ミラー光学系の開発 前田良知(宇宙航空研究開発機構)
16:24	V319a 硬 X 線偏光観測実験 X(L)-Calibur 気球の 2018 年の観測結果と 2021 年フライトへ向けた準備状況 高橋弘充(広島大学)	10:54	V328a 補償光学を利用した直入射 EUV 望遠鏡によるサブ秒角撮像 北本俊二(立教大学)
16:36	V320a 太陽 X 線撮像分光観測ロケット実験 FOXSI (1) 一遮光フィルター開発と FOXSI-3 の観測初期解析結果一 清水貞行(名古屋大学)	11:06	V329b 多重像 X 線干渉計 MIXIM の開発 -10m 構成の実験と二次元撮像- 林田清(大阪大学)
		11:06	V330b 全天 X 線モニタ用光学系の開発 杉田聡司(青山学院大学)
		11:06	V331b X 線天文衛星 Athena 搭載用 SPO 反射鏡の光学定数測定 粟木久光(愛媛大学)
		11:18	V332b 銀河面からの軟 X 線背景放射 (6) 三石郁之(名古屋大学)

9月12日(木) 午後・G会場		14:36	V344b X線分光撮像衛星(XRISM)搭載 Xtend 用試作 miniCCD の評価(2) 岡崎貴樹(大阪大学)
13:00	V333a X線偏光観測衛星IXPEへの参加現状(4) 玉川徹(理化学研究所)		
13:12	V334a X線偏光観測衛星 IXPE 搭載 X線望遠鏡用受動型熱制御素子サーマルシールドの開発(5) 三石郁之(名古屋大学)	14:36	V345b X線分光撮像衛星 XRISM 搭載軟 X線撮像装置 Xtend の X線シールド 永友健太郎(宮崎大学)
13:24	V335a シミュレーションを用いた IXPE 衛星による X線偏光解析手法の研究 山本龍哉(広島大学)	14:48	V346a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 CCD 検出器にむけたパイルアップシミュレーターの構築 丹波翼(東京大学)
13:36	V336a 機械学習を用いた飛跡画像処理による光電子追跡型X線偏光計の感度向上および IXPE 衛星データへの応用 北口貴雄(理化学研究所)		
13:48	V337a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 Resolve の開発の現状 IV 石崎欣尚(首都大学東京)		
14:00	V338a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 X線望遠鏡(XMA)開発の現状(2) 林多佳由(NASA's GSFC/UMBC)		
14:12	V339a X線分光撮像衛星(XRISM)搭載軟 X線撮像装置の開発の現状(2) 村上弘志(東北学院大学)		
14:24	V340b XRISM 衛星搭載 Xtend 用フライト CCD 素子スクリーニングシステム 野田博文(大阪大学)		
14:24	V341b X線分光撮像衛星 XRISM 搭載軟X線撮像装置 Xtend のフライト用X線 CCD 素子の性能評価(1): 電荷転送効率評価 佐藤仁(宮崎大学)		
14:24	V342b X線分光撮像衛星 XRISM 搭載軟X線撮像装置 Xtend のフライト用X線 CCD 素子の性能評価(2): 軟X線応答評価 高木駿亨(宮崎大学)		
14:36	V343b X線分光撮像衛星 XRISM 搭載軟 X線撮像装置 Xtend のフライト用 X線 CCD 素子の性能評価: Grade 間における波高値の違いの評価 齋藤真梨子(奈良女子大学)		

W. コンパクト天体

9月11日(水) 午前・I会場			W13c X線連星のスペクトル状態遷移に関する熱伝導を考慮した2次元数値実験 IV 中村賢仁(九州産業大学)
11:00	W01a	MAXIによる軟X線新星 MAXI J0126-745の発見と10年間に発見されたブラックホール天体 根来均(日本大学)	
		9月11日(水) 午後・I会場	
11:12	W02a	ブラックホール候補天体 V4641 Sgr のX線モニタ観測 山岡和貴(名古屋大学)	15:00 W14a 球対称降着流における輻射性衝撃波の構造 福江純(大阪教育大学)
11:24	W03a	ブラックホール連星 GRS 1915+105 の24年間のX線変動の解析 白石一輝(東京工業大学)	15:12 W15a 輻射圧で駆動される降着円盤風と特異点の性質 遠峰勇佑(大阪教育大学)
11:36	W04a	光赤外線大学間連携によるマイクロエーサー GRS1915+105 の近赤外線観測 村田勝寛(東京工業大学)	15:24 W16a Influence of the magnetic field for radiative shocks 大海ほのか(大阪教育大学)
11:48	W05a	BH X線連星 MAXI J1820+070 の2019年の再増光時における多波長観測 安達稜(東京工業大学)	15:36 W17a 降着円盤における重力波 II 北野萌音(大阪教育大学)
12:00	W06a	Gaiaによる恒星質量ブラックホールの観測可能性 鹿内みのり(東京大学)	15:48 W18a CANS+によるMRI乱流生成の高空間分解能MHD数値実験 町田真美(九州大学)
12:12	W07a	メーター波電波パルス観測による我が銀河中心巨大ブラックホール・バイナリーの検証 大家寛(東北大学)	16:00 W19a ジャイロ運動論的乱流散逸によるイオン・電子加熱比 川面洋平(東北大学)
12:24	W08b	X線新星 MAXI J1631-479 の発見と MAXI/GSC のデータを用いたエネルギースペクトル解析 小林浩平(日本大学)	16:12 W20a 超臨界降着流の一般相対論的輻射磁気流体シミュレーション 朝比奈雄太(筑波大学)
12:24	W09b	MAXI/GSC のデータを用いたブラックホールX線新星 MAXI J1727-203 のスペクトル解析 青木真凜(日本大学)	16:24 W21a 多重コンプトン散乱込みの一般相対論的6次元輻射輸送計算コードの開発 小川拓未(東北大学)
12:24	W10b	X線新星 MAXI J1348-630 のX線モニタ観測結果 大枝幹(東京工業大学)	16:36 W22b 超臨界降着流におけるアウトフローのフラクタル次元解析 古野雅之(京都大学)
12:36	W11b	ブラックホール連星 LMC X-3 の降着円盤放射の研究2 岩尾祐希(広島大学)	16:36 W23b ULX Pulsar の超臨界降着柱モデル; Pulsed Fraction と磁軸、見込み角の関係 井上壮大(筑波大学)
12:36	W12b	銀河中心方向のコンパクト電波源の探査 助廣沙知(山口大学)	16:36 W24b ブラックホール・スピンの超臨界降着流の輻射スペクトルに与える影響 川島朋尚(国立天文台)

	W25c	降着円盤からのフィードバックが超臨界降着条件に与える影響 竹尾英俊(京都大学)	11:18	W37b	大質量 X 線連星 : IGR J00370+6122 の主星である中性子星のスピン周期変動 内田和海(広島大学)
	W26c	MAXI, Swift, RXTE による Be/X-ray Binary の X 線アウトバーストの観測 中島基樹(日本大学)	11:18	W38b	超広視野高速カメラ Tomo-e Gozen による Crab パルサーの Giant Radio Pulse 時の光度変動の探査 一木真(東京大学)
9 月 12 日 (木) 午前・I 会場					
09:30	W27a	全天 X 線監視装置 MAXI を用いた CircinusX-1 増光現象の統一的解釈 富永愛侑(宇宙航空研究開発機構)		W39c	クォーク物質のカラー超伝導状態と中性子星の冷却 野田常雄(久留米工業大学)
09:42	W28a	降着中性子星 SMC X-1 の「すざく」衛星による X 線スペクトル解析 高嶋聡(東京大学)		W40c	The largest glitch in the Crab pulsar in 2017 November 久野晋之介(熊本大学)
09:54	W29a	超強磁場中性子星「マグネター」のバーストの時間的な性質 中川友進(国立研究開発法人海洋研究開発機構)	9 月 12 日 (木) 午後・I 会場		
10:06	W30a	マグネター SGR 1900+14 における硬 X 線パルスの位相変調の発見 牧島一夫(東京大学)	13:00	W41a	U Gem の可視光 outburst における硬 X 線放射の振る舞い 武尾舞(首都大学東京)
10:18	W31a	MPPC を用いた光子計数法によるかにパルサーの観測 大内優雅(山形大学)	13:12	W42a	静穏時における矮新星 VW Hyi の白色矮星への質量降着率の変化 中庭望(首都大学東京)
10:30	W32a	中性子星内部から発生するニュートリノ放射が及ぼす X 線バーストの影響 土肥明(九州大学)	13:24	W43a	特異に軌道周期が長い SU UMa 型矮新星 : ASASSN-18yi および ASASSN-18aan 若松恭行(京都大学)
10:42	W33a	中性子星 (マグネター) のクラスト部分の数千年間の磁場進化 小島康史(広島大学)	13:36	W44a	冷たく安定した降着円盤をもつと考えられていた GP Comae Berenices のアウトバースト 小路口直冬(京都大学)
10:54	W34a	原始中性子星冷却におけるニュートリノシグナルへの weak magnetism の影響 杉浦健一(早稲田大学)	13:48	W45a	Gaia Data Release 2 を使った機械学習による矮新星のサブタイプ分類 磯貝桂介(京都大学)
11:06	W35a	原始中性子星における対流ダイナモと大局的磁場形成 政田洋平(愛知教育大学)	14:00	W46a	質量移動に伴う連星白色矮星系の進化 安西信一郎(首都大学東京)
11:18	W36b	「すざく」による低質量 X 線連星 XB1916-053 のスペクトル中の吸収構造 渡辺佑馬(宇宙航空研究開発機構)	14:12	W47b	B&C 61cm 望遠鏡による南天での重力波対応天体探査 亀井悠平(名古屋大学)
			14:12	W48b	重力波観測ラン O3 における J-GEM の重力波フォローアップ 笹田真人(広島大学)

14:12	W49b	Tomo-e Gozen を用いた秒スケールでの可視突発天体の探査 有馬宣明 (東京大学)	11:06	W61a	Occurrence of fast-pairwise collective neutrino oscillations and their role in the explosion mechanism of core-collapse supernovae Milad Delfan Azari (Waseda University)
14:24	W50b	GRB090618 の減光過程における熱的成分の探査とその変動 勝倉大輔 (埼玉大学)	11:18	W62a	輻射輸送計算による II n 型超新星の光度曲線モデル構築 武井勇樹 (東京大学)
14:24	W51b	W50/SS 433 の構造形成に関する磁気流体計算 II 小野宏次郎 (九州大学)	9 月 13 日 (金) 午後・I 会場		
	W52c	超新星爆発時のフォールバックと中心天体からのエネルギー供給が決める若い中性子星の多様性 岩田朔 (東京大学)	13:30	W63a	種族合成計算と星団進化計算用の超低金属量星の進化経路モデルの開発 谷川衝 (東京大学)
9 月 13 日 (金) 午前・I 会場			13:42	W64a	散開星団起源の連星ブラックホール合体率の金属量依存性 熊本淳 (東京大学)
09:30	W53a	ガンマ線連星 PSR B1259-63/LS 2883 の ALMA による初検出 藤田裕 (大阪大学)	13:54	W65a	球状星団における連星形成シミュレーション 吉成直都 (東京大学)
09:42	W54a	ALMA Polarimetry of AT2018cow 霜田治朗 (東北大学)	14:06	W66a	Density cusps around supermassive black holes as nurseries of gravitational wave events Alessandro Alberto Trani (The University of Tokyo)
09:54	W55a	Swift/BAT と XRT で同時観測された指数減光を示す GRB の減光過程の解析 勝倉大輔 (埼玉大学)	14:18	W67a	キロノヴァの多様性と輻射輸送計算によるその光度曲線の予測 川口恭平 (東京大学)
10:06	W56a	Swift 衛星による GRB090618 の減光過程の広帯域ライトカーブ解析 堀江光希 (埼玉大学)	14:30	W68a	連星中性子星合体初期の電磁波放射予測のための輻射輸送計算コード開発 石井彩子 (東京大学)
10:18	W57a	MAGIC 望遠鏡による GRB 190114C からの超高エネルギーガンマ線の発見 深見哲志 (東京大学)	14:42	W69a	円偏向から探る GW170817 の時空のダイナミクス 作野優理枝 (福岡大学)
10:30	W58a	GRB 190114C からの TeV ガンマ線放射の物理 井上進 (理化学研究所)	14:54	W70a	連星中性子星合体残骸による高エネルギー宇宙線生成 木村成生 (東北大学)
10:42	W59a	ニュートリノ優勢降着円盤における質量降着の不安定性とガンマ線バーストへの応用 川中宣太 (京都大学)	15:06	W71a	iPTF 14gqr と同種の ultra-stripped supernovae の発生率と、NS 合体との関係 聖川昂太郎 (東京大学)
10:54	W60a	超新星爆発におけるニュートリノ集団振動の普遍性と観測への影響 森長大貴 (早稲田大学)	15:18	W72a	木曾超広視野高速 CMOS カメラ Tomo-e Gozen による重力波フォローアップ観測 新納悠 (東京大学)

X. 銀河形成

9月11日(水) 午前・J会場		12:48	X13b	“Slowing Down” of the Cosmic Growth of Supermassive Black Holes 大木平 (Kavli IPMU)
11:00	X01a			
		12:48	X14b	Swift 衛星 /BAT で選択された近傍活動銀河核サンプルに対するエディントン比と母銀河のガス質量 / 星質量比の相関関係の検証 山下祐依 (東京大学)
11:12	X02a			
11:24	X03a			
11:36	X04a			
11:48	X05a			
12:00	X06a			
12:12	X07a			
12:24	X08a			
12:36	X09b			
12:36	X10b			
12:36	X11b			
12:48	X12b			
9月11日(水) 午後・J会場				
		15:00	X15a	The cosmic variance on the $H\alpha$ luminosity function examined by the new numerical galaxy catalogue (ν^2GC) 小倉和幸 (文教大学)
		15:12	X16a	大規模天体サーベイ観測に向けた模擬カタログの構築と公開 石山智明 (千葉大学)
		15:24	X17a	宇宙論的シミュレーションで探る、恒星ストリームと銀河重力場の関係 森永優 (千葉大学)
		15:36	X18a	衛星銀河ハローのダークマターによる構造の違いと銀河形成過程による影響 岡本崇 (北海道大学)
		15:48	X19a	IC10 の銀河衝突シミュレーションで探る Dark Satellite の存在可能性について 森正夫 (筑波大学)
		16:00	X20a	周期的な超新星フィードバックによる Ultra-diffuse galaxy の形成 加藤一輝 (筑波大学)
		16:12	X21a	Galaxy Evolution as Seen from Machine Learning 竹内努 (名古屋大学)
		16:24	X22a	Examining the Spatially Resolved Star Formation Histories of Local Interacting Galaxies Kiyooki Christopher Omori (Nagoya University)
		16:36	X23a	ALMA データを用いたスパースモデリングによる $z = 2.56$ の重力レンズ天体 Cloverleaf QSO の超解像度イメージング 戸上陽平 (名古屋大学)

16:48	X24b	機械学習による遠方銀河の形態パラメータ推定 馬屋原拓也(北見工業大学)	10:30	X36a	ALMA および Keck で探る赤方偏移 -1.5 の銀河団領域における銀河の化学進化 木村大希(東北大学)
16:48	X25b	SIMD 命令を用いた SPH 法の高速度化 吉川耕司(筑波大学)	10:42	X37a	赤方偏移 ~ 0.9 の超銀河団 CL1604 の大規模構造の全貌 林将央(国立天文台)
9月12日(木) 午前・J会場			10:54	X38a	すばる超広視野観測で明かす大規模構造形成と銀河進化 山本直明(東北大学)
09:30	X26a	3次元輻射流体シミュレーションによる低金属量星団形成 福島肇(筑波大学)	11:06	X39a	$z = 0.9$ 銀河団の最新観測で探る銀河降着過程と星形成活動の関係 朝野哲郎(東京大学)
09:42	X27a	HSC-SSP 深撮像データと可視分光観測で探る $z \leq 0.02$ 極金属欠乏銀河 小島崇史(東京大学)	11:18	X40a	長波長・赤外線放射の相関が及ぼす銀河星形成率推定への影響 吉田俊太郎(名古屋大学)
09:54	X28b	すばるで探る近傍極金属欠乏銀河の有効半径・星質量関係-遠方初期銀河との関係- 磯部優樹(東京大学)	9月12日(木) 午後・J会場		
09:54	X29b	$z = 5-6$ における星形成銀河のアウトフロー II 菅原悠馬(東京大学)	13:00	X41a	ガスの流入を考慮した銀河内ダストの化学進化 長崎早也香(名古屋大学)
09:54	X30b	星形成銀河からの遷音速アウトフローの赤方偏移依存性 五十嵐朱夏(筑波大学)	13:12	X42a	Galaxy simulation with the evolution of grain size distribution 青山尚平(ASIAA)
10:06	X31b	ALMA を用いた $z=4.3$ サブミリ波銀河の金属量測定 但木謙一(国立天文台)	13:24	X43a	JCMT/SCUBA2 mapping of the AKARI NEP WIDE field Tomotsugu Goto (National Tsing Hua University)
10:06	X32b	すばる HSC 広域可視光データを用いた高赤方偏移 DLA の対応天体の探索 玉田望(愛媛大学)	13:36	X44a	High- z Galaxies are Hot: ALMA band-8 Dust Temperature Measurements of Star Forming Galaxies at $z \sim 5.5$ Yoshinobu Fudamoto (University of Geneva)
10:06	X33b	$z = 2.4$ 53W002 原始銀河団における大質量銀河の星形成の調査 米倉直紀(愛媛大学)	13:48	X45a	Stellar velocity dispersion of a massive galaxy with suppressed star formation at $z = 4.01$ 田中賢幸(国立天文台)
10:18	X34a	$Ly\alpha$ 輝線で見える $z \sim 3$ のクエーサーを持つ原始銀河団 菊田智史(総合研究大学院大学/国立天文台)	14:00	X46a	Correlation between galaxy and IGM at $z \sim 2.2$ based on Subaru/HSC MAMMOTH overdensities and SDSS/(e)BOSS quasar spectra Liang, Yongming (Sokendai/NAOJ)
	X35c	多波長データに基づく $z \sim 2$ の原始銀河団コアに属する銀河の性質 安藤誠(東京大学)			

X. 銀河形成

14:12	X47a	Properties of H α emitters at $z \sim 2.1-2.5$ selected from broad-band photometry 寺尾恭範 (東京大学)	10:54	X58a	Ly α Intensity Mapping with SFGs at $z = 5.7$ and 6.6 : Ly α Emission Extended at >150 ckpc Beyond the Virial-Radius Scale of Galaxy DMHs 鹿熊亮太 (東京大学)
14:24	X48a	ロング・ガンマ線バースト GRB 080207 母銀河における分子ガスの性質 廿日出文洋 (東京大学)	11:06	X59a	CHORUS による赤方偏移 3.3 および 4.9 の電離光子放射銀河の探査 山中郷史 (早稲田大学)
14:36	X49a	Molecular clumps in a main sequence galaxy at $z \sim 1.4$ 牛尾海登 (京都大学)	11:18	X60a	Unbiased study on LAE fraction at $z \sim 3-6$ with MUSE 日下部晴香 (University of Geneva)
14:48	X50a	グリーンバレー銀河、および MS 銀河における星形成効率の形態依存性 小山舜平 (愛媛大学)	9 月 13 日 (金) 午後・J 会場		
9 月 13 日 (金) 午前・J 会場			13:30	X61a	Ly α halos around quasars at $z > 6$ 百瀬莉恵子 (東京大学)
09:30	X51a	前主系列星を含む初代銀河スペクトルの分類 三谷啓人 (東京大学)	13:42	X62a	クエーサー放射による銀河周辺物質への影響 内山久和 (国立天文台)
09:42	X52a	宇宙再電離期における 21cm 線と [O III] 銀河の相互パワースペクトル 森脇可奈 (東京大学)	13:54	X63a	最近傍の radio loud QSO, 3C273 周辺での拡がったミリ波連続波の検出 小麦真也 (工学院大学)
09:54	X53a	深宇宙探査による赤方偏移 $z > 10$ の銀河の検出可能性再考 井上昭雄 (早稲田大学)			
10:06	X54a	再電離期のバルマーブレーク銀河候補と赤方偏移 14 以上の星形成率密度への制限 馬渡健 (東京大学)			
10:18	X55a	Early Low-Mass Galaxies and Star-Cluster Candidates at $z \sim 6-9$ 菊地原正太郎 (東京大学)			
10:30	X56a	ISM Properties of $z > 6$ Galaxies Revealed with ALMA [O III] and [C II] Observations 播金優一 (国立天文台)			
10:42	X57a	遠赤外から紫外線データに基づく $z = 6.1$ のライマンブレイク銀河における電離状態の診断 須永夏帆 (名古屋大学)			

Y. 天文教育・広報普及・その他

9月13日(金) 午前・B会場		9月13日(金) 午後・B会場	
10:30	Y01a IAU 戦略計画の日本における理念実装への課題と考察 縣秀彦(国立天文台)	13:30	Y12a すばる望遠鏡 HSC の大規模データを使った市民天文学 2. ウェブサイトの開発 臼田 - 佐藤功美子(国立天文台)
10:42	Y02a 日本での天文教育分野の研究論文のサーベイ 富田晃彦(和歌山大学)	13:42	Y13a Mitaka の新機能について ~古代の日食の再現とコマンド機能~ 加藤恒彦(国立天文台)
10:54	Y03b アストロバイオロジーを伝える学際的な広報普及 日下部展彦(アストロバイオロジーセンター)	13:54	Y14a ぐんま天文台 150-cm 望遠鏡と低分散分光器 GLOWS を用いたカラー分光画像 橋本修(ぐんま天文台)
10:54	Y04b 木曾シュミット乾板デジタル化データの公開 - 乾板のデジタル化 青木勉(東京大学)	14:06	Y15a 人工衛星の太陽反射光からオゾンを検出する 大西浩次(長野工業高等専門学校)
10:54	Y05b 木曾シュミット乾板デジタル化データの公開 - 公開システムの開発 古澤順子(国立天文台)	14:18	Y16a 天文部の活動を通じた次世代育成と STEAM 教育 川越至桜(東京大学)
	Y06c SMOKA の現状と今後の取り組み 古澤順子(国立天文台)	14:30	Y17a 小学生でも簡単に作れて月のクレーターが見える安価で実用的な天体望遠鏡 谷口康一
	Y07c 天文学と時間学 藤沢健太(山口大学)	14:42	Y18a 宇宙・天文分野の特性を踏まえた対論型サイエンスカフェの試行 玉澤春史(京都市立芸術大学/京都大学)
11:06	Y08a 東京女子高等師範学校に設置された水路部分室の勤務体制 馬場幸栄(一橋大学)		Y19c コズミックカレッジとその教育普及効果 京田綾子(日本宇宙フォーラム)
11:18	Y09b 緯度観測所の応召記念写真に記録された水路部水沢分室 馬場幸栄(一橋大学)		
11:18	Y10b 超小型人工衛星を使った新たな教育利用の試み: 中高生による軌道上望遠鏡超小型衛星 Stars-AO(あおい)を用いた観測研究立案プロジェクト 内山秀樹(静岡大学)		
11:18	Y11b 超小型カメラによる夜空の明るさ自動測定 柴山万優子(星空公団)		

2019年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	酒井剛	(電気通信大学)
委員	岩切涉	(中央大学)
	鈴木知治	(中部大学)
	成田憲保	(アストロバイオロジーセンター)
	廿日出文洋	(東京大学)
	古澤久徳	(国立天文台)
	掘田英之	(千葉大学)
	松岡良樹	(愛媛大学)
	安井千香子	(国立天文台)
	町田真美	(九州大学) 保育室担当

年会開催地理事

小出眞路 (熊本大学)